

326
49



始



4T-9

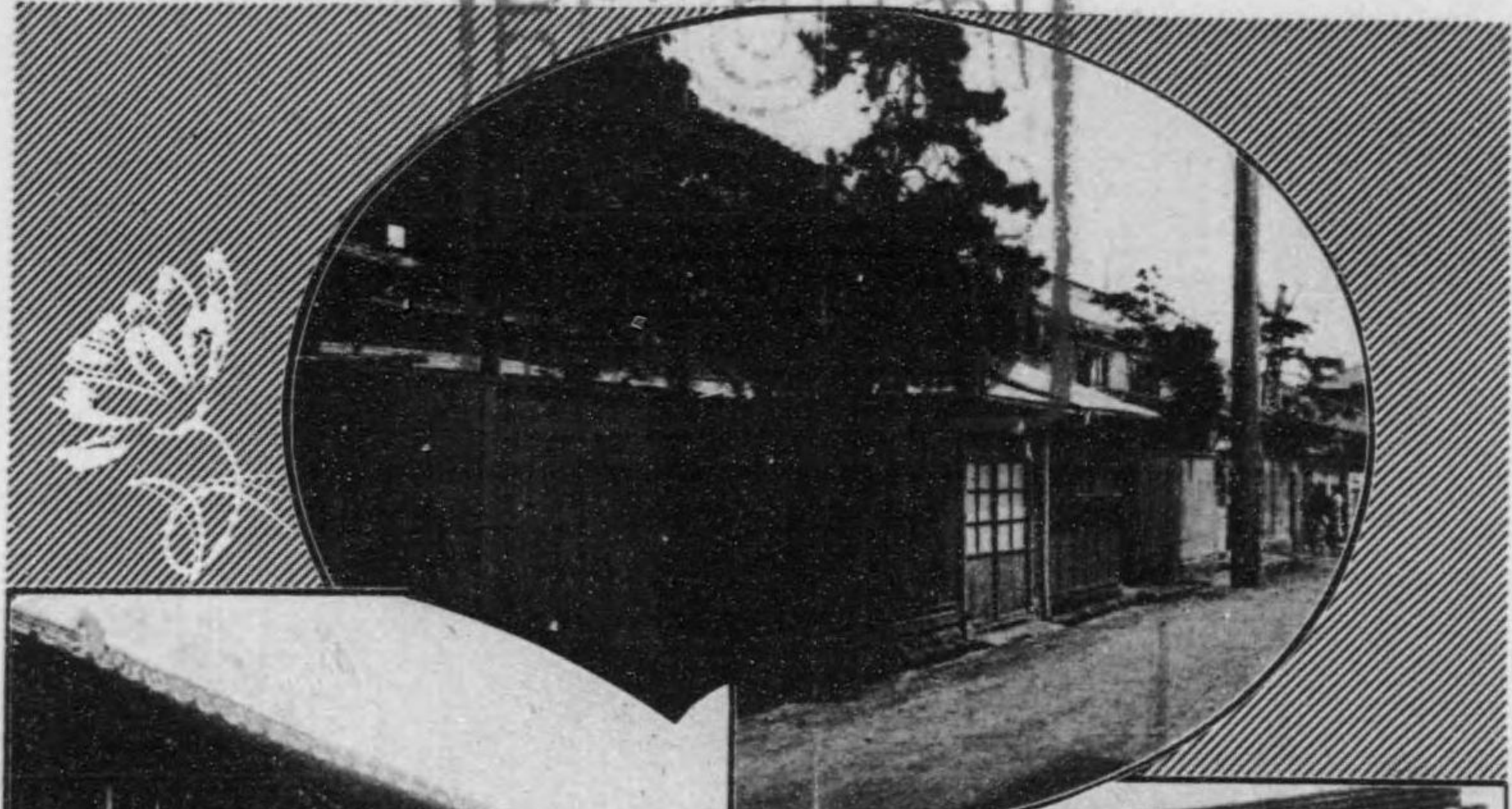
32

49

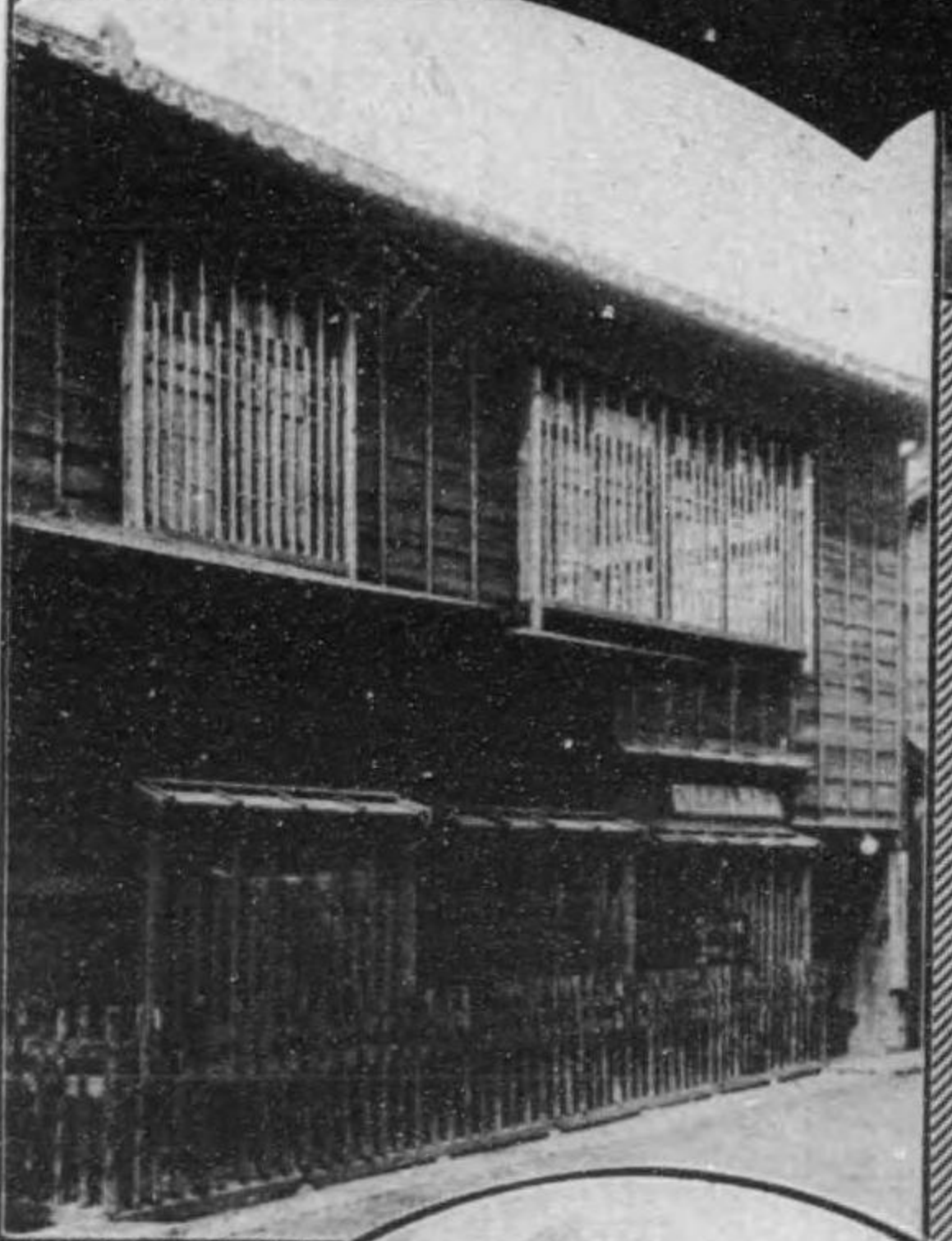
東京市職業紹介所第七回年報

(大正六年度)

326-49
東京市芝職業紹介所



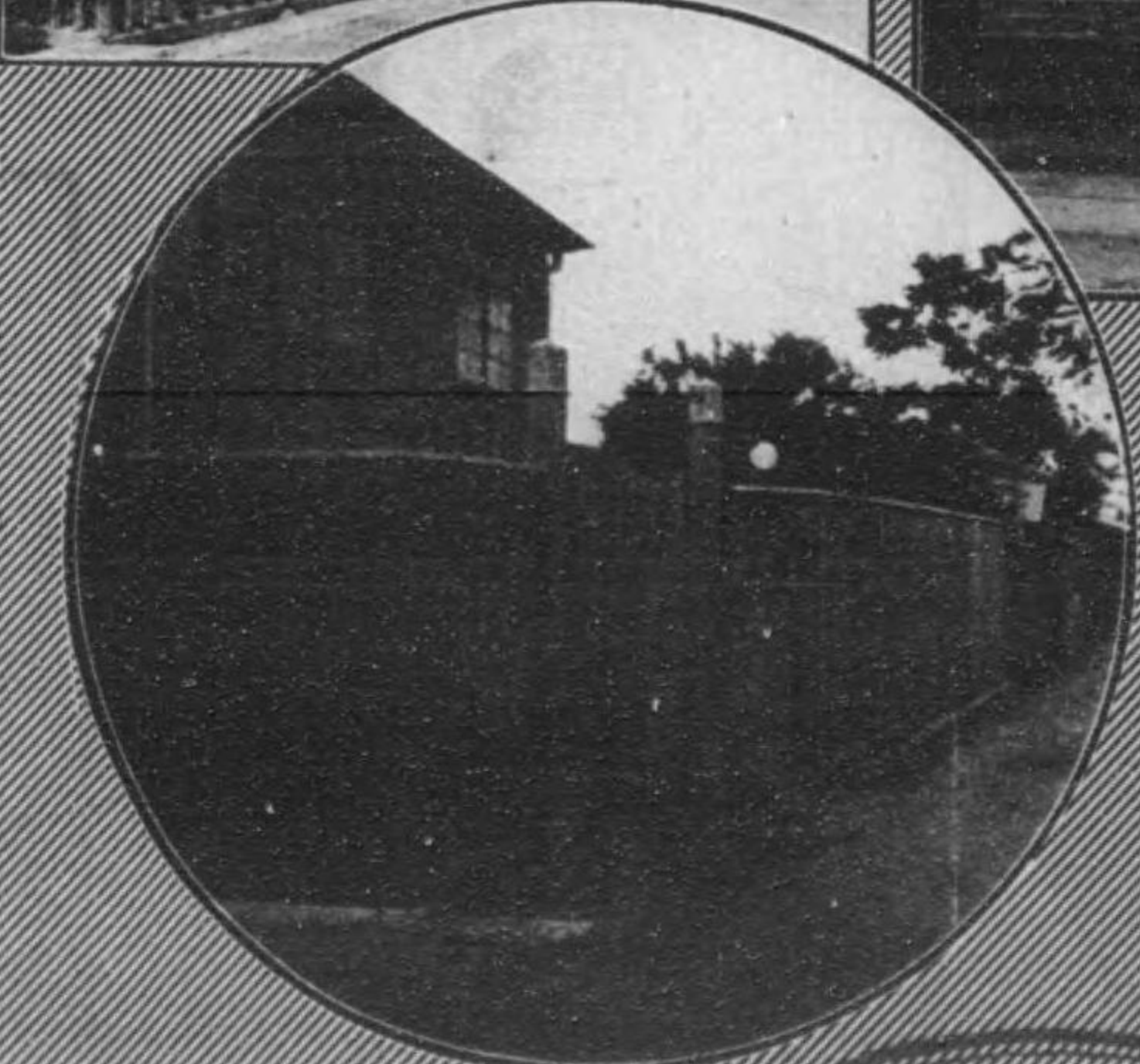
東京市浅草職業紹介所



東京市神田職業紹介所

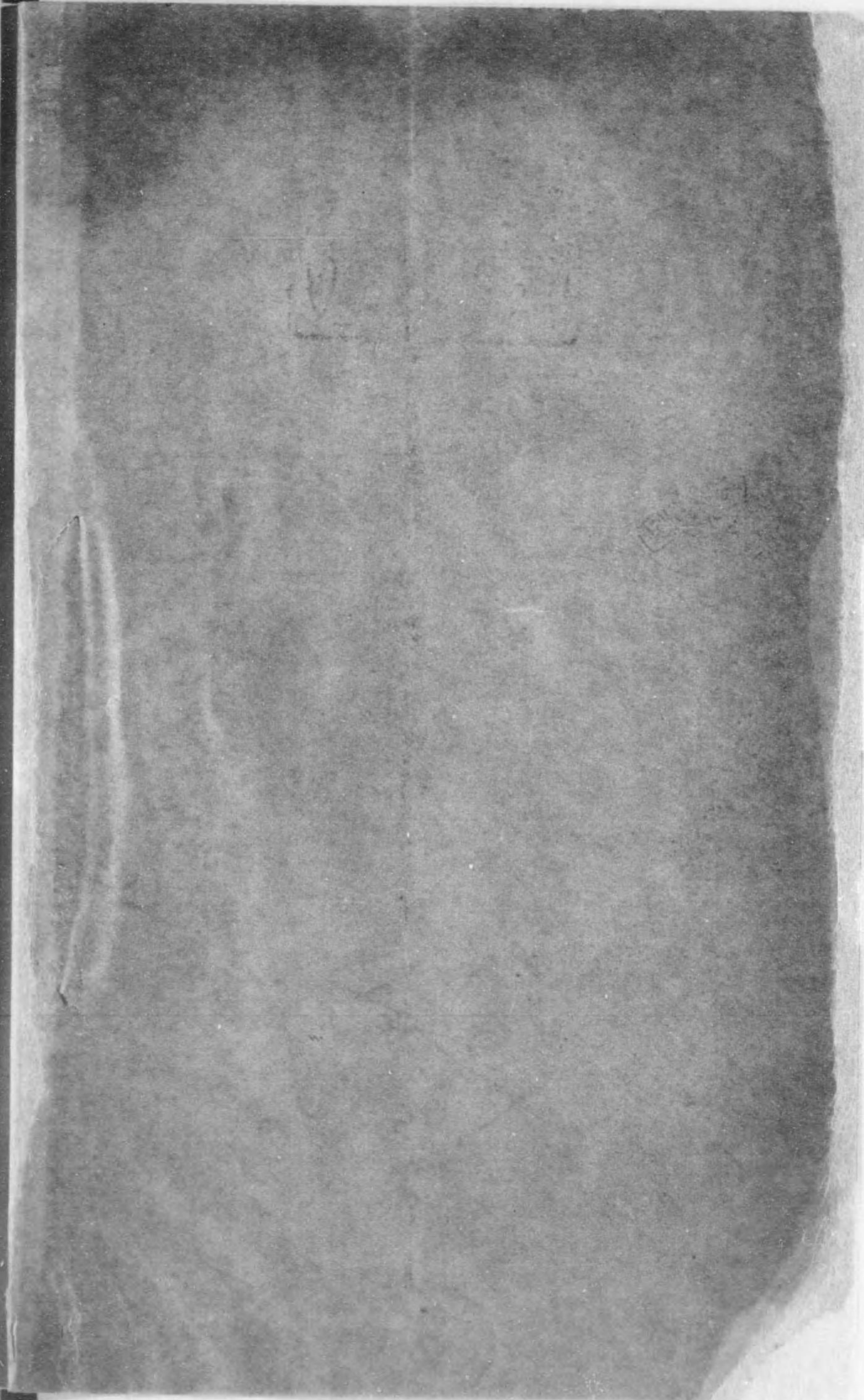


東京市小石川職業紹介所

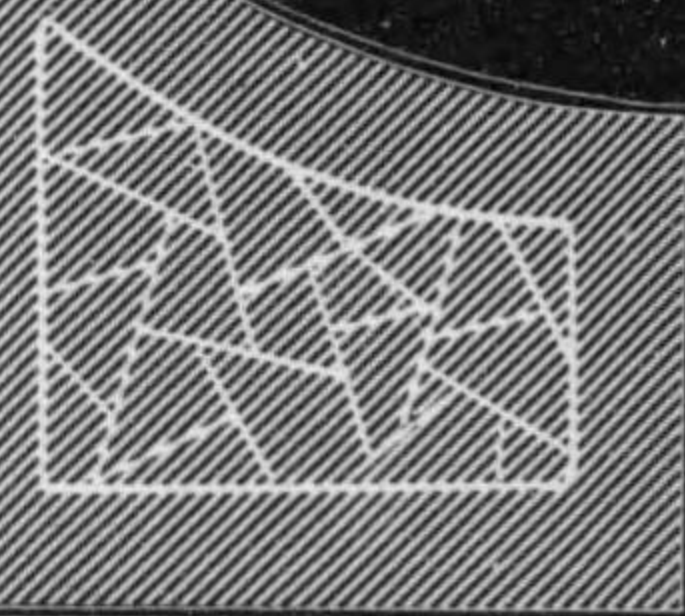
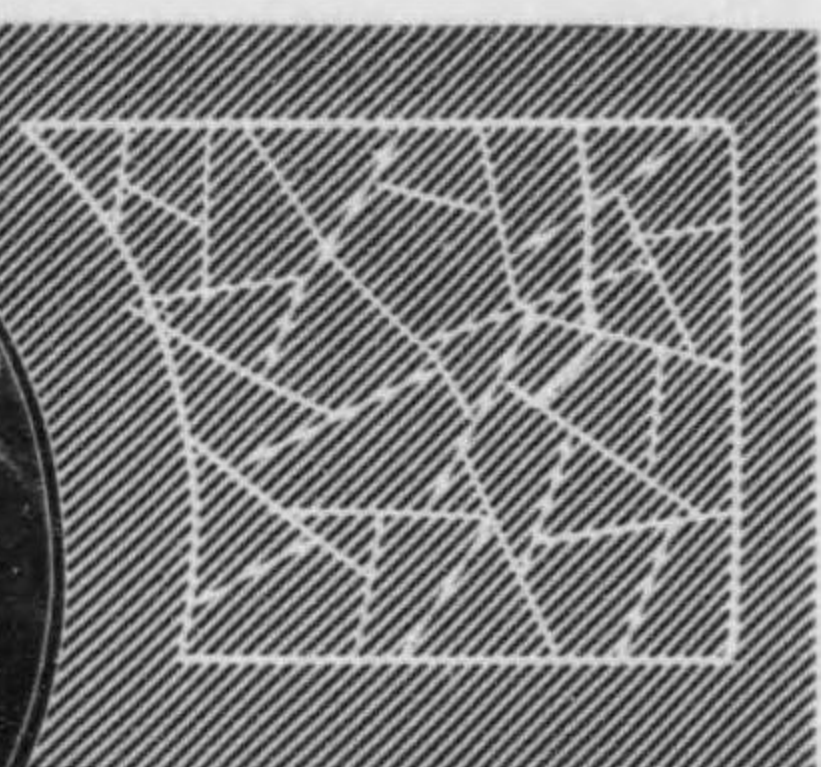
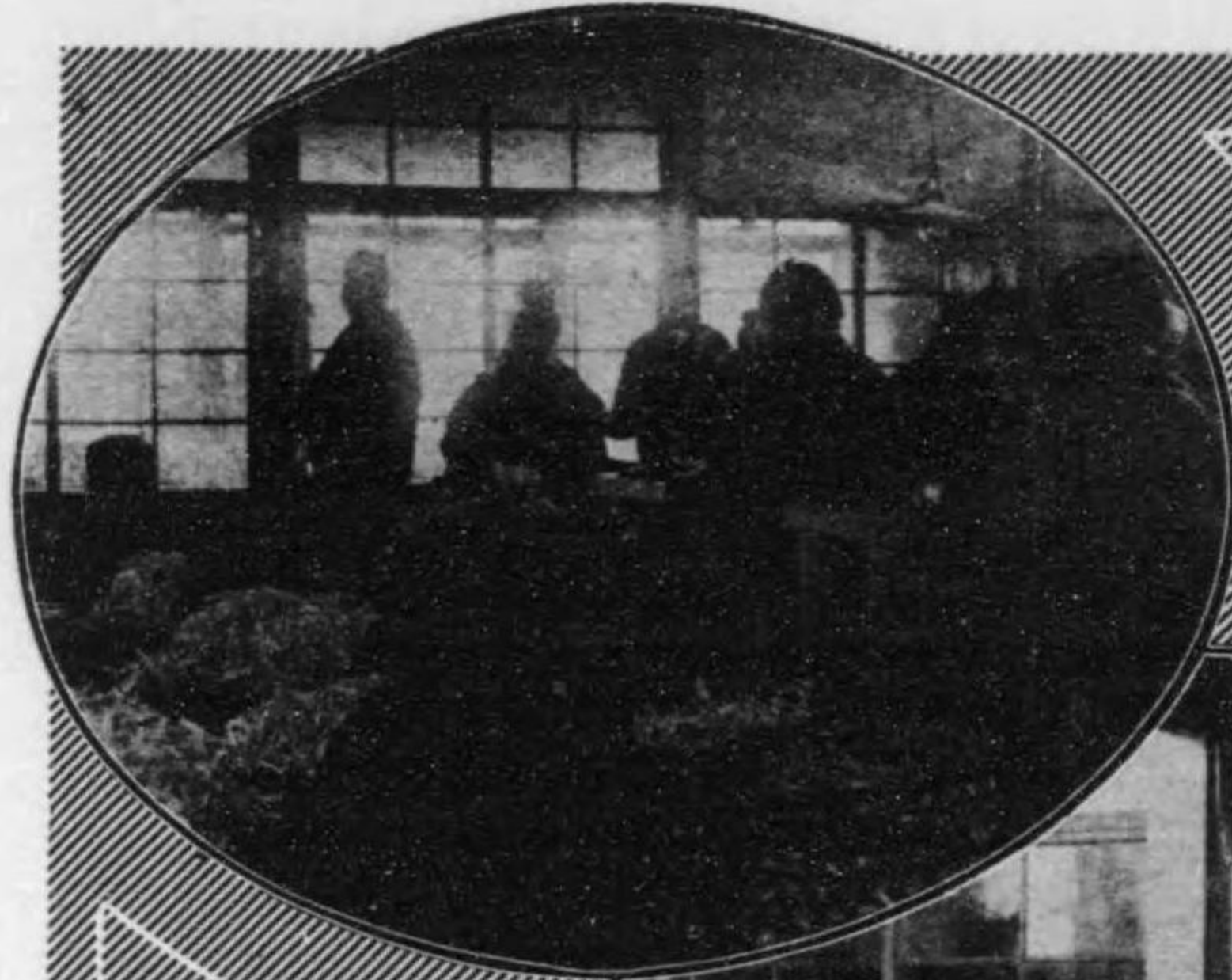


東京市小石川職業紹介所

大正
7 12 16
寄贈

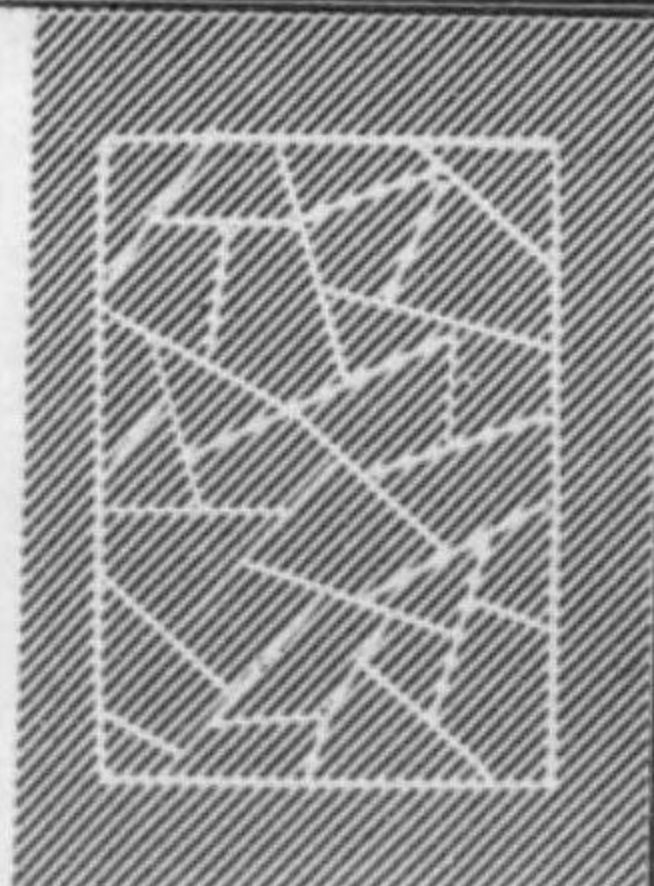
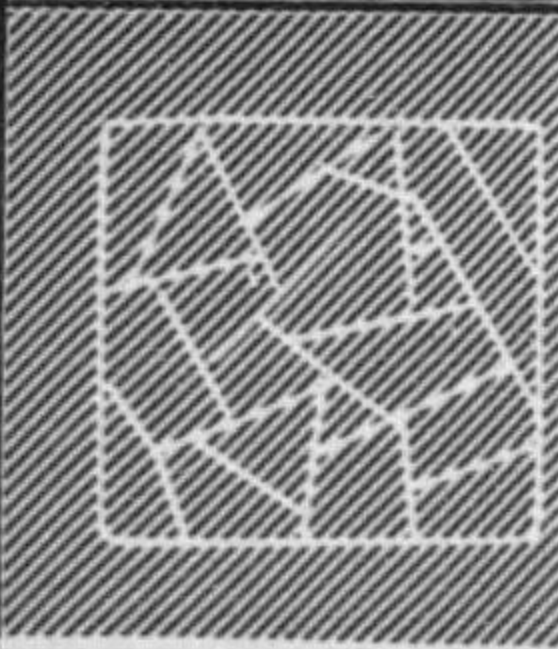
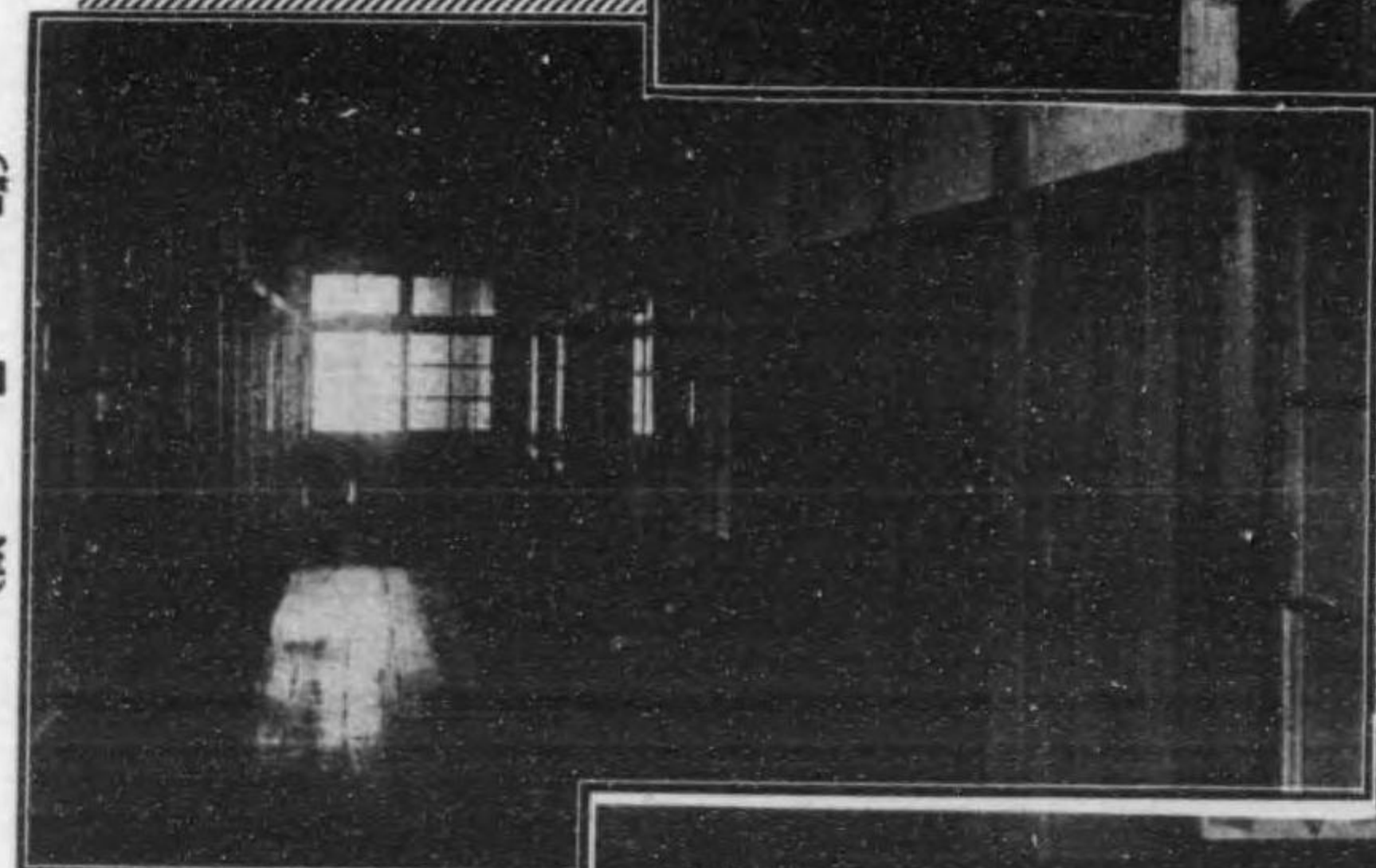


(場 産 授)



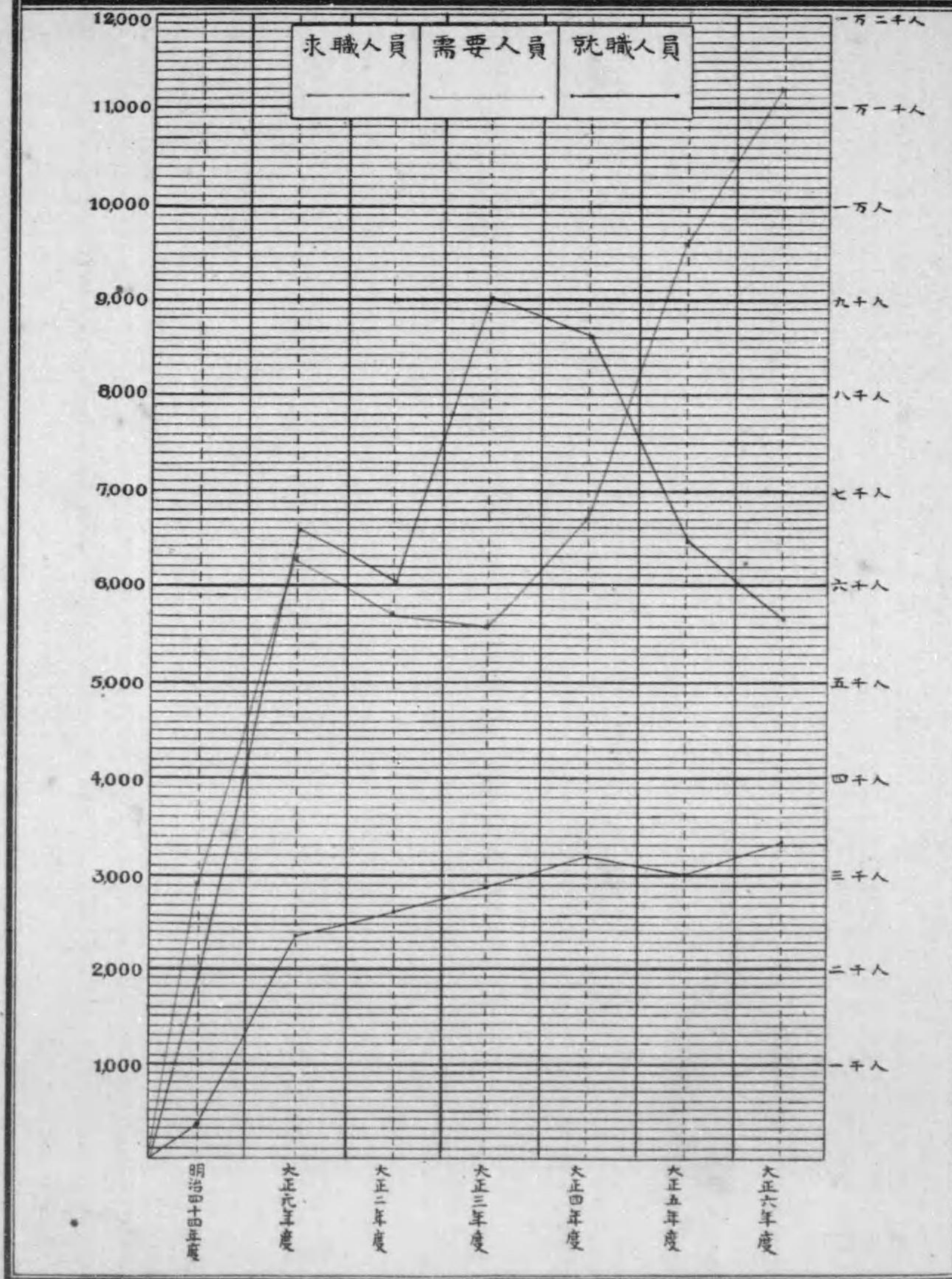
(求 職 者 受 附 状 況)

(宿 泊 室)

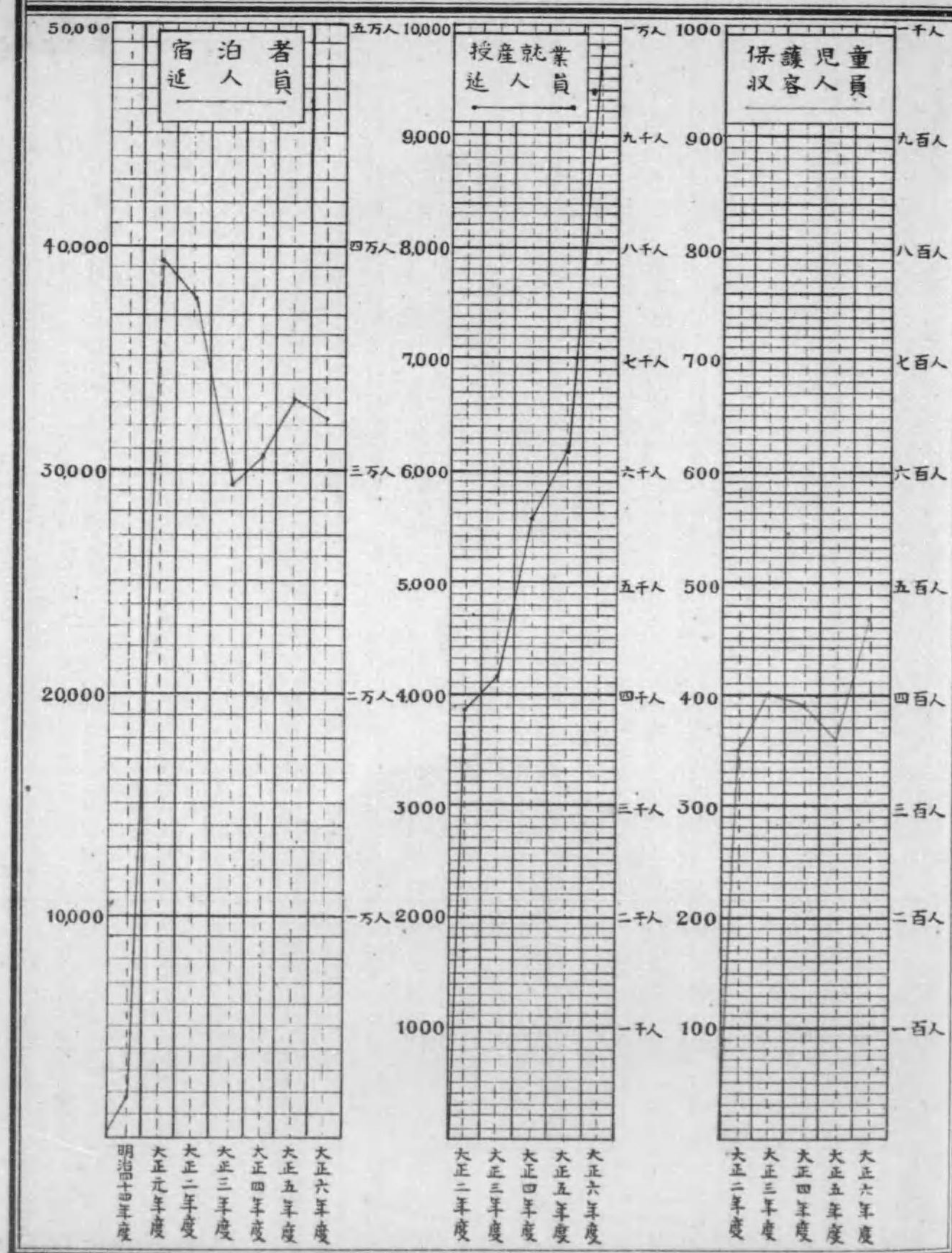


(童 兒 護 保)

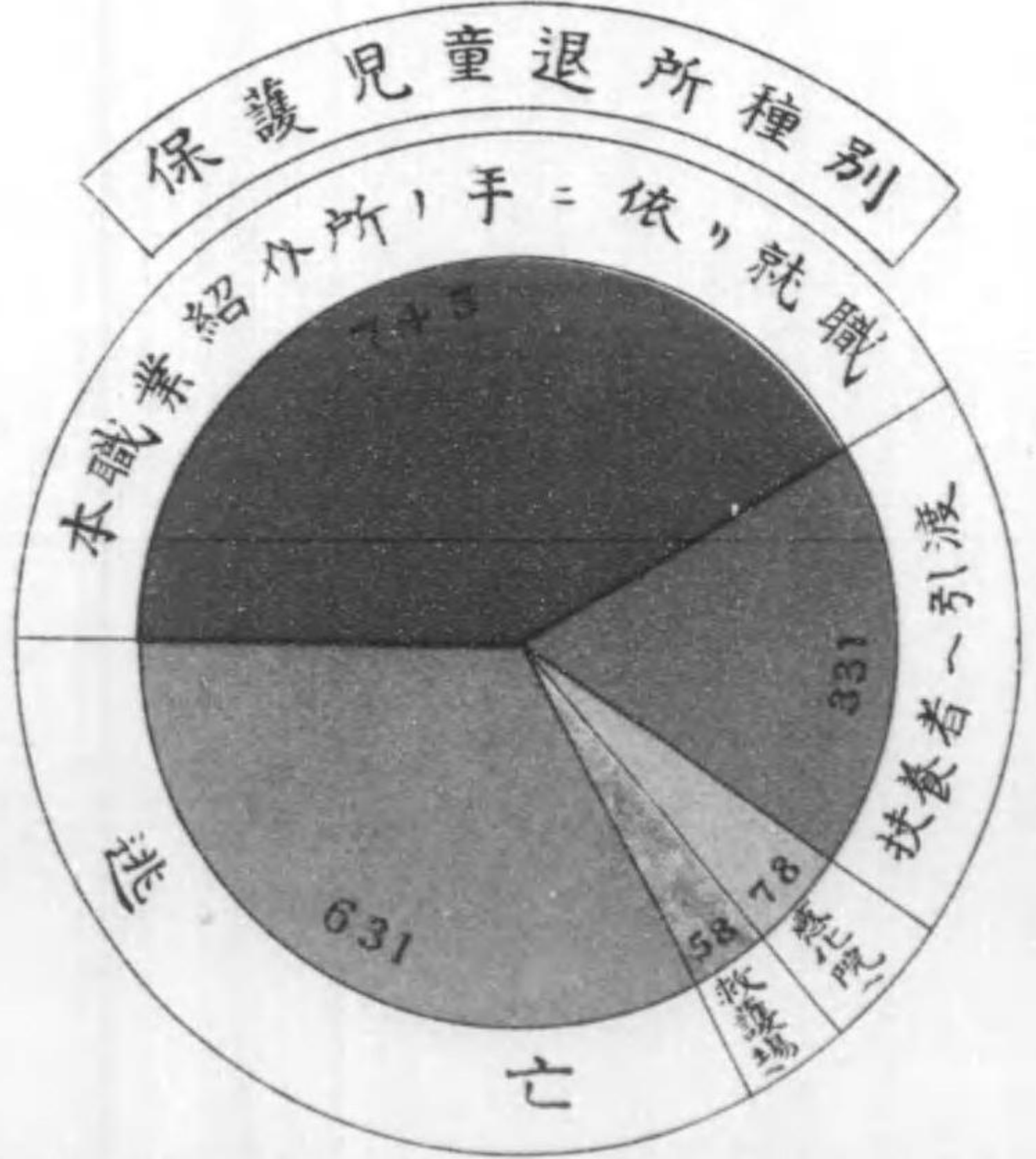
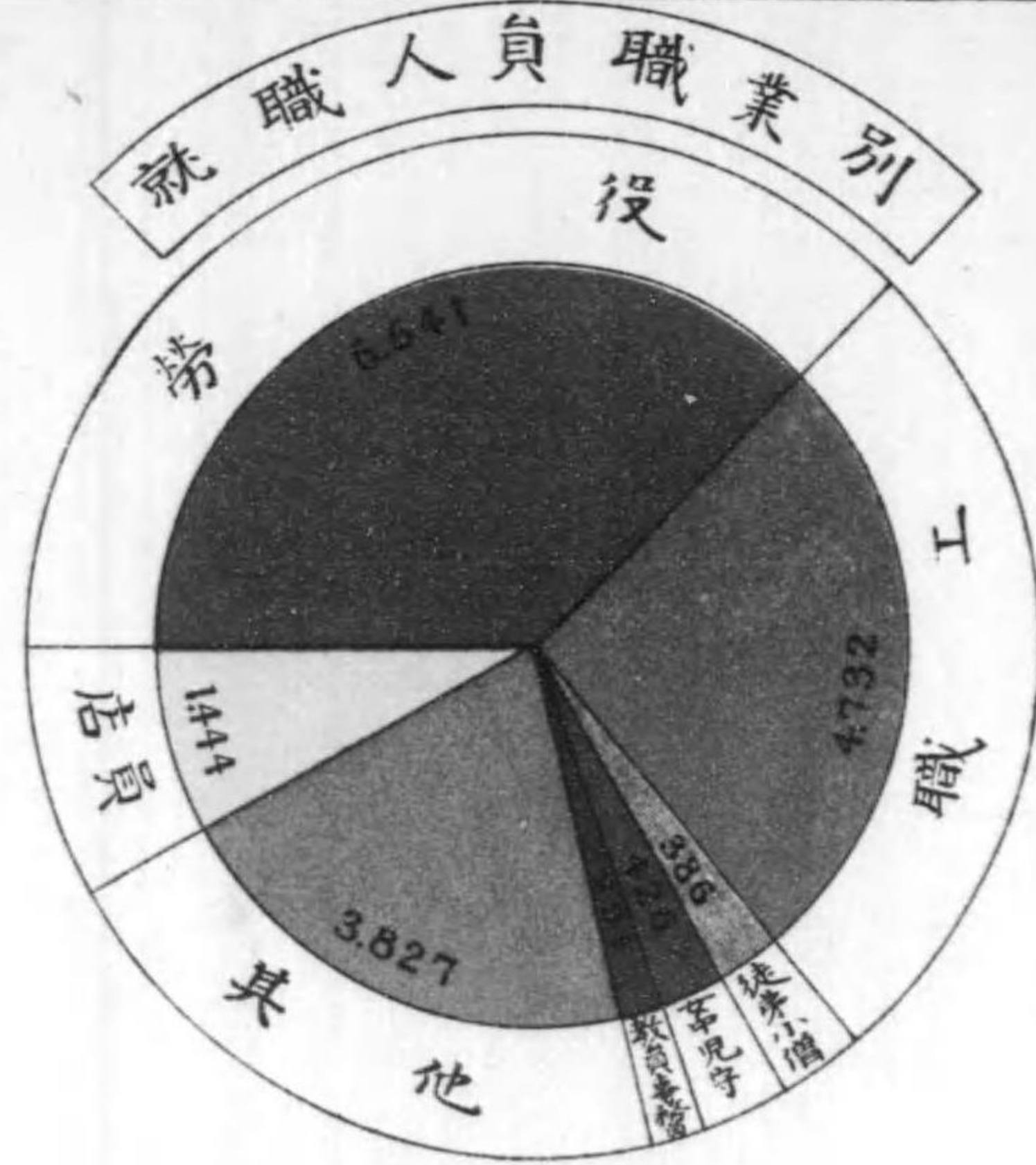
東京市職業紹介所事業成績 (一)



東京市職業紹介所事業成績(二)



東京市職業紹介所事業成績 (三)



目次

第一章 沿革并組織	一
第一、沿革	一
第二、所在地	一
第三、諸規程	二
一、庶務規程	二
二、職業紹介規程	三
三、事務取扱手續	五
四、求職者心得	六
五、宿泊者心得	七
六、兒童保護所事業要領	八
第四、經費	一〇
第五、財產	一四

第六、所員	一五
第二章 大正六年度事業概況	一五
第一、庶務概要	一五
一、開設當初ヨリ大正六年度末ニ至ル月別成績統計表	二〇
二、月別事務取扱數	二三
第二、求職者	二五
一、求職者出生地別ト在京年數	二六
二、就職希望業務ト年齢	二九
三、就職希望業務ト教育程度	三三
第三、就職者	三六
一、希望業務ト就職業務	三六
二、就職業務ト年齢	四六
第四、需要者	五〇
一、需要業務ト需要者住所	五〇

二、需要業務ト使用人支給賃金	五二
第五、宿泊者	五五
一、宿泊者職業ト年齢	五五
二、宿泊者出生地別	五七
第六、児童保護	六一
一、自大正二年度至大正六年度 五ケ年間ニ於ケル児童保護成績表	六一
二、月別收容人員	六三
三、保護児童ノ出生地別	六四
四、保護児童ノ送致者ト悪化ノ狀況	六六
五、保護児童收容當時ノ年齢ト教育程度	六八
六、保護児童浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間	七〇
七、保護児童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因	七三
八、保護児童扶養義務者ノ職業ト浮浪原因	七三
九、保護終了事由ト收容期間	七四

一〇、保護費並ニ辨償金額.....	四
第七、授産.....	七
一、月別授産成績.....	七
第八、慰安及訓戒.....	七
以上.....	七



東京市職業紹介所第七回年報

第一章 沿革並組織

第一、沿革

本職業紹介所、社會的救濟事業ノ一機關トシテ明治四十四年十一月初メテ淺草、芝ノ兩區ニ各一ヶ所翌四十五年三月小石川區ニ一ヶ所開設セラレ專ラ失業者及無業者ノ爲メニ職業ノ紹介ヲ行ヒ兼ネテ労働者宿泊ノ事業ニ從事ス而シテ尙ホ大正三年九月更ニ神田區ニ一ヶ所ヲ増設シ着々事業發展シタリシモ經費削減ノ結果大正七年三月末日限り同所ヲ閉鎖スルノ已ムナキニ至レリ大正二年度ヨリハ附帶事業トシテ失業者ノ應急的救濟ヲ目的トスル簡易ナル授産場ヲ淺草職業紹介所内ニ又市内ヲ浮浪スル少年男女ヲ保護スル目的ヲ以テ兒童保護所ヲ小石川職業紹介所内ニ併置セリ但シ保護所ハ大正四年七月事務ノ都合上淺草職業紹介所ニ移セシモ大正六年度以降東京府ヨリ補助金ヲ受クル事トナリ從テ規模擴張ノ必要上大正六年七月再ヒ小石川職業紹介所ニ移セリ

第二、所在地

東京市淺草職業紹介所

淺草區玉姬町一二六

(電話下谷四、五五〇)

東京市芝職業紹介所

芝區新堀町三〇

(電話芝一、一六〇)

東京市小石川職業紹介所

小石川區大塚坂下町二〇二

(電話小石川二一七)

東京市神田職業紹介所

神田區連雀町一八

(電話神田九〇六)

第三、諸規程

一、處務規程

- 第一條 職業紹介所ハ養育院長ノ管理ニ屬シ市長ノ指揮監督ヲ承ケ市内居住ノ失業者及無業者ニ業務ヲ紹介シ兼テ宿泊ノ事ヲ經營ス
- 第二條 職業紹介所ニ主幹一名及事務員若干名ヲ置ク
- 第三條 主幹ハ主事又ハ事務員ヲ以テ之ニ充ツ



- 第四條 主幹ハ養育院長ノ指揮ヲ承ケ所務ヲ掌理シ所員ヲ指揮ス
- 第五條 事務員ハ上司ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス
- 第六條 養育院長ハ市長ノ認可ヲ受ケ事務執行ニ關スル必要ノ規程ヲ設クルコトヲ得

二、職業紹介規程

- 第一條 本所ハ東京市内ニ居住スル失業者及無業者ニ無手数料ヲ以テ職業ヲ紹介ス其業務ノ種類ハ別ニ之ヲ定ム
- 第二條 本所ノ附設宿泊所ハ料金ヲ徴シテ境遇困難ナル者ニ宿泊ヲ爲サシム
- 第三條 業務ノ紹介ヲ求ムルモノハ其申込ヲ爲シ求職票ノ登記ヲ受クヘシ
- 第四條 登録ヲ受ケタル求職者來所ノ際ハ登録證ヲ携帯スヘシ
- 第五條 登録證ヲ失ヒタル者ハ其旨届出テ更ニ交付ヲ受クヘシ
- 第六條 求職者本所ノ紹介ニ依ラスシテ就職シタル時若クハ求職申込條件ニ變更ヲ生シタルトキハ其旨直ニ届出ツヘシ
- 第七條 求職者ハ求職者心得ヲ遵守スヘシ之ニ違反スルトキハ紹介ヲ拒絶シ既ニ登録ヲ受ケタルモノハ其登録ヲ抹消ス

第八條 求職者ニ對スル業務ノ紹介ハ登録ノ前後ニ依ル但事情切迫者ハ特ニ優先セシムルコトアルヘシ

四

第九條 本所ハ求職者ノ身元保證ヲ爲サス

第十條 使用人需要者ハ書面又ハ口頭若クハ電話ヲ以テ需要ノ申込ヲ爲スコトヲ得其紹介ハ無手数料トス

第十一條 使用人需要者ハ市内居住者タルヲ要セス

第十二條 使用人需要者ハ本所ノ紹介ニ依ラスシテ使用人ヲ雇入レタルトキ若クハ需要申込ノ條件ニ變更ヲ生シタルトキハ其旨直ニ届出ツヘシ

第十三條 本所附設ノ宿泊所ニ宿泊ヲ請ハント欲スル者ハ其旨申込ムヘシ

第十四條 前條申込ニ對シ本所ハ境遇査察ノ上宿泊セシムルノ必要アリト認メタルトキニ限り之ヲ許可ス但晝間在宿ヲ許サス

第十五條 宿泊料ハ一泊金六錢トス但入浴セシメサル場合ハ之ヲ金五錢トス

第十六條 日傭労働者ハ本規定第三條第四條第五條ニ依ラスシテ取扱フコトヲ得

三、事務取扱手續

第一條 求職ノ申込アル毎ニ掛員ハ求職票ニ記載ノ各調査事項ニ從ヒ申込ニ對シテ詳細ナル尋問ヲ行ヒ之ヲ該票ニ記入スヘシ

第二條 掛員ハ求職者ニ對シ懇切丁寧ヲ旨トスヘシ

第三條 求職者ニ對スル調査事項ニ就キ必要ト認ムルトキハ官公署前雇主隣保等ニ就キ調査ヲ行フヘシ

第四條 求職票ハ就職取消未了ノ三種ニ區別シ且男女別及職業別ニ依リテ之ヲ分類整理スヘシ

第五條 男票及ヒ女票ハ用紙ノ色彩ニ依リテ之ヲ別異ス

第六條 使用人需要者ヨリ需要ノ申込ヲ受ケタルトキハ之ヲ使用人需要票ニ記載ノ事項ニ從ヒ適當ノ記入ヲ爲スヘシ

第七條 使用人需要者ニ就キ其身元調査ヲ爲スノ必要アリト認メタルトキハ適當ノ方法ニ依リ調査ヲ行フヘシ

第八條 使用人需要票ハ雇入済取消未了ノ三種ニ區別シ分類整理スヘシ

第九條 宿泊申込人ニ對シテハ相當調査ヲ行ヒタル上宿泊者心得ヲ遵守スルヲ條件トシテ之ヲ許可スヘシ

第十條 紹介及宿泊ノ事項ハ翌月五日迄ニ養育院長ニ報告スヘシ
第十一條 附設宿泊所ニ關スル執務ハ午後五時ヨリ翌日午前七時迄トス

四、求職者心得

- 一、求職ノ申込ヲ爲サント欲スルモノハ本所へ出頭シ掛員ニ其旨申出ツヘシ
- 一、申込時間ハ午前八時ヨリ午後三時迄トス
- 一、申込人ハ本所ヨリ交付シタル求職登録證ヲ保存シ來所ノ際之ヲ携帯スヘシ登録證ヲ遺失シキル時ハ其旨直ニ届出テ再交付ヲ受クヘシ
- 一、申込人職業ニ就キタルトキハ登録證ヲ返納スヘシ
- 一、申込人ハ掛員ノ質問ニ對シ誠實ニ應答ヲナスヲ要ス
- 一、掛員ヨリ戸籍謄本履歷書又ハ其他必要ナル書類ノ提出ヲ求メタルトキハ遲滯ナク之ヲ差出スヘシ
- 一、申込人ハ靜肅ヲ旨トシ決シテ喧噪不穩ノ舉動アルヘカラス
- 一、求職者心得ニ違犯スル者、罹病者、泥醉者及其他掛員ノ指示ニ從ハサル者ニ對シテハ求職ノ申込ヲ受ケス
- 一、以上各項ノ外申込人ハ總テ掛員ノ指示ニ從フヘシ

五、宿泊者心得

- 一、宿泊ヲ請ハント欲スルモノハ本所掛員ニ其旨申込ムヘシ
- 一、申込時間ハ午後五時ヨリ同八時迄トス
- 一、宿泊ハ一夜ニ限り滯留ヲ許サス
- 一、宿泊料ハ金六錢トス宿泊人ハ宿泊ノ許可ヲ受ケタル際之レヲ納付スヘシ但宿泊料ハ入浴セシメサル場合ハ之ヲ金五錢トス
- 一、宿泊ヲ許可シタル者ニハ宿泊券ヲ交付ス但翌朝退去ノ際之ヲ返納スヘシ
- 一、宿泊者ハ就寢前可成入浴スヘシ
- 一、宿泊者ハ所内ニ於テ飲酒ヲ爲スヘカラス
- 一、宿泊者ハ春、夏ハ午後十時迄秋、冬ハ午後九時迄ニ必ス就寢スヘシ
- 一、宿泊者ハ春、夏ハ午前五時迄秋、冬ハ午前五時半迄ニ起床シ自己ノ使用シタル寐具、寢衣等ヲ整頓シタル上午前六時半迄ニ必ス退去スヘシ
- 一、宿泊者ハ掛員ノ質問ニ對シ誠實ニ應答ヲナスヲ要ス
- 一、宿泊者ハ靜肅ヲ旨トシ決シテ喧噪不穩ノ舉動アルヘカラス

一、宿泊者心得ニ違犯スル者、罹病者、泥酔者及其他掛員ノ指示ニ従ハサル者ニ對シテハ宿泊ヲ許サス
一、以上各項ノ外宿泊者ハ總テ掛員ノ指示ニ從フヘシ

六、兒童保護所事業要領

一、目的 職業紹介所ノ附帶事業ニシテ市内浮浪少年男女ヲ收容シ其惡化ヲ防キ境遇ヲ改善セシム
スルニアリ

一、所在地 東京市小石川區大塚坂下町二百二番地東京市小石川職業紹介所内

一、收容定員 二十五人

一、收容期間 約拾五日以内ニ保護者ニ引渡シ又ハ奉公口ヲ求メテ退所セシム

但特ニ必要アル場合ハコノ限リニアラス

一、收容方法 警察官署ヲ經テ收容ス

但特別ノ事情アルモノハ此ノ限リニアラス

一、收容中ノ所遇

イ、身分、親許等ヲ調ヘ且ツ奉公口ヲ求ムルコト

ロ、毎日簡易ナル學科ヲ授クルコト

ハ、修身的訓戒ヲ行フコト

ニ、傷痍、疾病、死亡ノ場合ハ行路病者ニ準シ警察官署又ハ區役所ニ托シ便宜ノ取扱ヲナスコト

一、保護種別

イ、扶養義務者其他ニ引渡スヘキ種類ノモノ

ロ、職業ヲ紹介シテ奉公ニ出スヘキモノ

ハ、感化院ニ送致スヘキモノ

ニ、感化院以外ノ救護場ニ引渡スヘキモノ

一、收容者ノ引渡等

イ、前條第一項該當者ハ扶養義務者其他ヲ本所ニ呼出シテ本人ヲ引渡ス

但場合ニヨリ本所ヨリ送還スルコトアリ

ロ、前條第二項該當者ハ本所ニ於テ便宜職業紹介ヲ行ヒ就職セシム

ハ、前條第三項即チ感化法第五條第一項該當者ニ對シテハ東京市長ニ於テ相當取扱ヲナシ又同第二項該當者ニ對シテハ親權者又ハ後見人ヨリ相當手續ヲナサシメタル上感化院ニ送致スルコト

ニ、前條第四項該當者ニ對シテハ警察官署又ハ區役所ニ於テ便宜ノ取扱ヲ受ケタル上救護場ニ引渡

スコト

一、保護所ノ設備 過度ノ檢束ハ勿論不可ナルモ勉メテ逃走ヲ避クルノ設備ヲナス
一、保護費辨償 收容費及送還費等ハ凡テ引取人ニ於テ辨償セシム

但第七條(ハ)(ニ)二項該當者ヲ除ク

イ、收容者費 一日金貳拾錢
ロ、其他 實 費 以 上

第四、經 費

金壹萬九千四百拾八圓

(大正六年度豫算)

内 譯
金貳千九百七拾六圓
金壹千百七拾圓
金九百九拾壹圓

事務員給
雇員給
炊夫小使給

金壹百貳拾圓
金五百六拾五圓
金參百參拾圓
金五百八拾圓
金壹千參百八拾圓
金四百拾五圓
金參百五拾圓
金壹千參百圓
金貳拾五圓
金參百圓
金七千六百拾六圓
金壹千圓
金參百圓
金壹萬九千六拾圓九錢

(大正六年度決算)

囑託醫手当
慰勞並特別手当
旅費並車馬賃
備品費
消耗品費
通信費
印刷費
賄服費
被服費
瓦斯電氣料
授産費
雜費
修繕費

內 譯

金參千拾圓貳拾五錢
 金壹千百拾六圓四拾貳錢
 金八百七拾八圓五拾六錢
 金百貳拾圓
 金五百六拾五圓
 金參百貳拾參圓拾五錢
 金六百參拾四圓八十八錢
 金壹千九百五拾參圓四拾參錢
 金四百拾四圓
 金參百貳拾九圓拾參錢
 金八百參拾八圓貳拾錢
 金貳拾壹圓
 金貳百五拾五圓四拾六錢

事務員給
 雇員給
 炊夫小使給
 囑託醫手當
 慰勞並特別手當
 旅費並車馬賃
 備品費
 消耗品費
 通信費
 印刷費
 賄服費
 被服費
 瓦斯電氣料

金七千四百貳拾參圓九拾四錢
 金八百參拾七圓九拾八錢
 金參百參拾八圓六拾九錢
 金貳萬壹千四百五拾七圓

內 譯

金貳千五百九拾貳圓
 金七百九拾貳圓
 金八百六拾九圓
 金百貳拾圓
 金九百五拾圓
 金參百貳拾圓
 金七百圓
 金壹千五百八拾圓
 金貳百參拾參圓

(大正七年度豫算)

授產費
 雜費
 修繕費
 事務員給
 雇員給
 炊夫小使給
 囑託醫手當
 慰勞並特別手當
 旅費並車馬賃
 備品費
 消耗品費
 通信費

金參百七拾圓	印	費	一四
金貳千貳百拾圓	賄	費	
金拾七圓	被	費	
金貳百五拾七圓	服	費	
金九千六百貳拾四圓	瓦	費	
金五百貳拾五圓	斯	費	
金貳百九拾八圓	電	費	
	氣	費	
	料	費	
	授	費	
	產	費	
	雜	費	
	修	費	
	繕	費	

第五、財 產 (大正七年三月末日現在)

金貳萬壹千九百五拾八圓八拾六錢	敷地(貳百四拾坪)購入價格
內 譯	建物(貳百參拾壹坪)建築價格
金參千四百五拾參圓八拾九錢	什器購入價格
金壹萬參千五百四拾四圓	
金四千九百六拾圓九拾七錢	

第六、所 員 (大正七年三月末日現在)

主 幹	缺
事務員及雇員	九 名
囑託 醫 員	壹 名
使 丁	四 名
炊 夫	壹 名

第二章 大正六年度事業概況

第一、庶務概要

大正六年四月、本月ニ於ケル求職人員四百八十一人需要人員壹千四百四十九人ニシテ之ヲ前年ノ同月ト比
スルニ前者ニ於テ百九十八人ヲ減セシニ反シ後者ニ於テハ實ニ四百四十八人ヲ増セリ是ハ時局ノ
引續キ各種事業界ニ及ホセル好影響ノ結果ニ因ルベキモ一面前年度來本所ノ採レル各種ノ施設則
チ廣告、訪問等ニヨリ其開拓ニ努メタル効果モ又沒ス可ラズ

今此ノ兩者ニツキ斯月ニ於ケル開所以降ノ申込人員ヲ表示セバ左ノ如シ

種目	明治四十五年		大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
求職人員	五三八	五二八	五四四	五七四	五九二	六五〇	六五七	六三七	六三〇	四六〇	四六〇	三三四〇	
需要人員	五五五	四〇〇	四六七	四六七	四九八	五七〇	五七〇	六三七	六三七	一、〇〇八	一、〇〇八	三、七六〇	
													三、三三〇

大正六年五月、需要人員前月ヨリ幾分減少シタリシモ求職人員四百六十四人ニ對シ二倍以上ノ多數ヲ算セリ而シテ其需要業務ニ就テ見ルニ合計九百九十六人中(内女七十五人)職工ノ三百五人ヲ最多トシ配達ノ百九十三人労働ノ百六十二人店員ノ百七人之ニ亞キ集金、技術手ノ各二人ヲ最少トス而シテ女子需要ノ大半ハ女中ニシテ何レモ三十歳未滿ノ壯年者ヲ望メリ

今本月ノ成績ニ依リ求職人員ニ對スル需要人員ノ割合並ニ求職、需要、紹介狀交付人員ニ對スル就職人員ノ割合ヲ示セバ左ノ如シ

- 一、求職人員ニ對スル需要人員ノ割合 二十一割五分弱
- 一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合 五割二分強
- 一、需要人員ニ對スル就職人員ノ割合 二割四分強
- 一、紹介狀交付人員ニ對スル就職人員ノ割合 七割弱

大正六年六月、前月ニ比シ需要人員特ニ求職人員ニ於テ著ルシキ減少ヲ見タリ是前者ハ季節ノ關係上一般ニ屋外作業ニ要スル労働需要ノ減少セシニ因リ後者ハ地方ノ農繁及養蠶期ニ際シ比較的就職ヲ目的トスル上京者少ナカリシ結果ナランカ

大正六年七月、本所附帶事業タル兒童保護所ニ對シ本年度以降東京府ヨリ事業費補助トシテ金壹千圓ヲ受クル事ニ決シ定員一日拾名ナリシヲ二十五名ニ増加スル事トナリタル結果一般規模ヲ擴張スルノ必要上本月五日淺草紹介所ヨリ小石川紹介所へ移管セリ

本月ニ於ケル各種成績中特ニ宿泊者數ノ減少ヲ見タリ是ハ例年ニ顯ル傾向ニシテ氣候温暖トナリシ爲メ露宿者ノ増加シタルト前述ノ如ク兒童保護所ヲ移シタル結果小石川紹介所ノ宿房狹隘ヲ告ケ萬止ムヲ得ザルモノ、外宿泊ヲ拒絕シタルニ因レリ

大正六年八月、前月及前々月ニ比シ求職人員特ニ需要人員著シク増加シ男子八百四十四人女子百六十九人ヲ算セリ而シテ其多クハ各種工業界方面ニ要スル職工雜役夫ニシテ女子ニ在リテハ其九割迄女中ヲ占メ兩者共其待遇條件等逐次厚遇ノ傾向ヲ示シ從テ就職率ヲ遞加セリ

大正六年九月、本月ニ於ケル求職並需要人員前月ニ比シ更ニ増加シ從テ就職者數モ各月ニ見ザル多數ヲ算セリ今其割合ヲ示セバ左ノ如シ

- 一、求職人員ニ對スル需要人員ノ割合 十八割二分餘
- 一、需要人員ニ對スル就職人員ノ割合 三割三分餘
- 一、求職人員ニ對スル就職人員ノ割合 六割一分餘
- 一、紹介狀交付人員ニ對スル就職人員ノ割合 七割餘

大正七年十月、去月三十日來ノ暴風雨並本月一日未明東京灣内ニ起リシ海嘯ノ爲メ潮流逆行シ隅田川筋ノ各川氾濫シ延テ淺草紹介所々在地附近迄モ出水シ同所ハ床上二尺餘ニ達スル浸水ヲ見タルヲ以テ本月一日、二日ノ兩日間事務ヲ休止スルノ己ムナキニ至レリ

大正六年十一月、本月ニ入り宿泊者數著ルシク増加シ淺草紹介所ノ如キハ一日平均七十五人餘ノ多數ヲ算シ殆ント連夜満員ノ狀況ヲ呈セリ是レ逐次寒冷ノ加ハルト共ニ附近ノ木賃宿一般値上ケセシ結果ナリトス

大正六年十二月、本月ニ於ケル求職人員四百五十八人需要人員五百十人ニシテ其申込數ヲ各月ト比較スルニ前者ニ於テハ大差ナカリシモ後者ニ於テハ殆ント半數ニ低下シタリ是レ例年ニ見ル現象ニシテ一般使用者ハ年末多忙ナルノ際雇人ノ異動ヲ避クルト共ニ被雇人ハ迎年ノ無事安全ヲ期スル爲メ兩者共移動ヲ爲サル結果ナリトス今斯月ニ於ケル開所當初ヨリノ求職、需要並ニ就職人員ヲ

示セバ左ノ如シ

種目	明治四十四年		大正元年		大正二年		大正三年		大正四年		大正五年		大正六年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
求職人員	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇
需要人員	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七
就職人員	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七	三〇七

大正七年一月、本月ニ於ケル求職、需要ノ申込人員並ニ宿泊者數前月ニ比シ甚シク増加シタリ是レ前者ハ越年後ノ異動ニ因ル結果ニシテ後者ハ本市事業界ノ好況ニ伴ヒ地方ヨリ出稼ヲ目的トスル上京者多數ナリシニ因ランカ

大正七年二月、本月ニ於ケル授産就業延人員一千二十八人總賃金四百四十圓二十七錢ニシテ稀ニ見ル好成绩ナリトス是レ本市衛生課所管ノ消毒所并用地課ノ一部及尼ヶ崎紡績株式會社等ニ人夫供給方ヲ特約シ本部目的ノ遂行ニ努メタル功果ナリトス

大正七年三月、需要申込人員ハ逐月遞加シ本月ニ於テ創設以來ノ記録ヲ破リ其數實ニ一千四百五十一人(内女百四十八人)ヲ算セリ是レ前段既ニ述ベシガ如ク時局ノ影響ハ本邦企業界ヲシテ空前ノ勃興ヲ促シ延テ所要人員ノ不足ヲ告ケ斯ク多數ノ申込ミヲ得タリ之ニ反シ一方求職人員ヲ見ルニ前月

二、月別事務取扱数(四ヶ所合計)

(大正六年度)

種別	求職人員		需要人員		求職人員中		宿泊人員		保護兒童收容人員		授産人員	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
大正六年四月	四六〇	二二	一〇〇六	一四三	二七六	九	一〇	二八七	三六	一	二五	一八
五月	四三三	四三	九二	七五	三三	三四	二〇	二九三	三七	一	四一	二〇
六月	三三三	三〇	六二	七四	二五	二二	一八	二六三	五六	三	四一	一五
七月	三九三	四一	六六	八〇	三七	二八	二二	二八五	六八	四	四三	八
八月	四七五	四六	八四	一〇九	四一	四二	二八	二〇七	八三	五	四三	二
九月	五五四	二七	九五	一〇四	四四	三三	一九	二四七	八三	五	四九	二
十月	四三六	三四	八〇	七九	三六	二六	一九	二二〇	一七	四	四九	三
十一月	四〇八	二四	九〇	九二	三三	二六	二〇	二二〇	二二	三	四〇	八
十二月	四三〇	二八	四八	六二	三五	二二	二七	二八六	一三	四	四五	八
大正七年一月	四九一	二二	六五	八七	四三	一四	二六	二九〇	六	三	三五	七
二月	四四〇	二二	七八	九五	三七	一八	二二	二八七	二	三	三七	二
三月	四六一	二二	八〇	九五	三七	一八	二二	二八七	二	三	三七	二
計	五三三	三五	九九九	一二五	四三三	二八一	三三	三三三	三三	六	五〇	一七

第二、求職者

本年度中に於ケル求職者總人員ハ男五千三百二十二女三百五十八人ニシテ之ヲ前年度ニ比スルニ女子ニ於テ百三十七人ヲ増セシモ男子ニ於テ九百三十七人ノ減員ヲ見タリ今大正三年度以降ノ求職人員ヲ年度別ニ表示スレバ左ノ如シ

大正三年度	男	八、七七九	女	一九一	計	八、九七〇
大正四年度	男	八、四八七	女	二〇六	計	八、六九三
大正五年度	男	六、二五九	女	二二二	計	六、四八〇
大正六年度	男	五、三二二	女	三三八	計	五、六八〇

右ノ表ニ見ルガ如ク男子ノ求職人員ハ年次減少シ女子ハ之ニ反セリ是レ前ニモ述ベシガ如ク時局ノ變遷ハ益々本邦事業界ノ活躍トナリ延テ所要人員ノ不足ヲ告ゲ遂ニハ職工ノ爭奪戰ヲ演ズルニ至リシ結果ハ本所ノ紹介ヲ俟タズシテ就職シ得ラレシニ因ルモノトス蓋シ社會政策上喜バシキ趨嚮ナリ而シテ女子ノ増加ハ女中等ノ希望者ヲシテ漸次本所ノ價值ヲ認知セシメタル結果ナラント思惟ス以下頁ヲ遂ヒ是等求職者ノ出生地別其他ニ就キテ述ベシ

一、求職者出生地別ト在京年數

求職者ノ出生地別ニ就テ見ルニ總計五千六百八十八人中本市出生者ハ八百七十一人ニシテ最多數ヲ占メ全人員ニ對シ一割五分餘ニ當レリ其他ニ於テハ新潟ノ三百五十三人千葉ノ三百五十人ヲ最多トシ茨城、長野、埼玉之ニ次ギ沖繩、宮崎、和歌山ノ諸縣ハ二十人ニ充タサリキ之ヲ要スルニ關東及東北地方ノ出生者多數ニシテ關西方面ノモノ少數ナリ次ニ其在京年數ノ長短ニ就テ見ルニ從來三ヶ年以上ノモノ多數ナリシニ前年度以降上京日淺キモノ即チ三ヶ月以内ノ居住者多數ニシテ全人員ノ五割七分餘ヲ占メタリ是レ本市ヲ中心トシテ續々地方ヨリ上京シ本所ニ來リタル結果ナリトス

求職者出生地別ト在京年數(四ヶ所合計) (大正六年度)

出生地別	一ヶ月以内		三ヶ月以内		六ヶ月以内		一ヶ年以内		三ヶ年以内		三ヶ年以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
東京市部	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
東京郡部	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
京都府	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
大阪府	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
計	40	40	44	44	64	64	112	112	116	116	172	172	344

出生地別	一ヶ月以内		三ヶ月以内		六ヶ月以内		一ヶ年以内		三ヶ年以内		三ヶ年以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
神奈川縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
兵庫縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
長崎縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
新潟縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
埼玉縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
群馬縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
千葉縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
茨城縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
栃木縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
奈良縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
三重縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
愛知縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
靜岡縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
山梨縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
滋賀縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
岐阜縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
岐阜縣	10	10	11	11	16	16	28	28	29	29	43	43	86
計	40	40	44	44	64	64	112	112	116	116	172	172	344

介紹所別	小		石		川		所		神		田		紹		介		所		合計
	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	未六十	六十以上	
職	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
工	1																		1
技術																			
徒																			
小																			
店																			
配																			
行																			
集																			
外																			
事務																			
寫																			
校																			
記																			
書																			
給																			
使																			
番																			
教																			
保																			
藥																			
看																			
勞																			
兒																			
女																			
計	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101	101

計	六十以上		六十未		五十未		四十未	
	男	女	男	女	男	女	男	女
計	101	101	101	101	101	101	101	101
六十以上	101	101	101	101	101	101	101	101
六十未	101	101	101	101	101	101	101	101
五十未	101	101	101	101	101	101	101	101
四十未	101	101	101	101	101	101	101	101

三、就職希望業務ト教育程度

次ニ求職者ノ教育程度ヲ見ルニ高等小學校ヲ卒業シタルモノ最多數ニシテ全人員ノ約四割ヲ占メ尋常小學校卒業若クハ其程度ノモノ之ニ亞ギ中學校卒業若クハ同程度以上ノモノ第三位タリ而シテ無教育者ハ甚タ少數ニシテ多クハ老年者ナリトス更ニ之ヲ希望業務ト對照スルニ高等小學校卒業若クハ同程度以下ノ學力ヲ有スルモノハ職工ヲ最多トシ労働、店員、配達等ヲ望ミ中學校卒業若クハ同程度以上ノ者在リテハ小壯者ニシテ苦學ノ目的ヲ以テ職工、書生、労働等ヲ望ムモノアリシモ其大半ハ事務員若クハ労働ヲ加味セサル店員ヲ希望シタリ

就職希望業務ト教育程度

(大正六年度)

就 職 業 務	希望 業務		職 工	技 術 手	徒 弟	小 僧	店 員	配 達	行 商	集 金	外 勤 員	事 務 員	寫 字	校 正	記 者	書 生
	男	女														
工 職			一八													
手 術 技					二											
弟 徒																
僧 小						二										
員 店							一七									
達 配							六									
商 行								一								
金 集									一							
員 勤 外											三					
員 務 事												二				
字 寫													三			
正 校																
者 記																
生 書															三	
仕 給																九
丁 使																
人 番																
員 教																
姆 保																
生 局 藥																
人 護 看																
勤 勞																
守 兒																
中 女																
計																

就 職 業 務	希望 業務		給 仕	使 丁	番 人	教 員	保 姆	藥 局 生	看 護 人	勞 働	兒 守	女 中	計
	男	女											
工 職			一										五八
手 術 技													
弟 徒													
僧 小													
員 店													
達 配													
商 行													
金 集													
員 勤 外													
員 務 事													
字 寫													
正 校													
者 記													
生 書													
仕 給													
丁 使													
人 番													
員 教													
姆 保													
生 局 藥													
人 護 看													
勤 勞													
守 兒													
中 女													
計													

希望業務卜就職業務

(大正六年度)

紹介所別

芝

紹

介

所

書 生	記 者	校 正	寫 字	事 務 員	外 勤 員	集 金	行 商	配 達	店 員	小 僧	徒 弟	技 術 手	職 工	希望業務		就職業務
														男	女	
														二	一	工 職
														二	一	手 術 技
															六	弟 徒
															五	僧 小
															一	員 店
															一	達 配
															五	商 行
																員 集
																員 勤 外
																員 務 事
																字 寫
																正 校
																者 記
																生 書
																仕 給
																丁 使
																人 番
																員 教
																姆 保
																生 局 藥
																人 護 看
																勤 勞
																守 兒
																中 女
																計

計	女 中	兒 守	勞 働	看 護 人	藥 局 生	保 姆	教 員	番 人	使 丁	給 仕	希望業務		就職業務
											男	女	
													工 職
													手 術 技
													弟 徒
													僧 小
													員 店
													達 配
													商 行
													金 集
													員 勤 外
													員 務 事
													字 寫
													正 校
													者 記
													生 書
													仕 給
													丁 使
													人 番
													員 教
													姆 保
													生 局 藥
													人 護 看
													勤 勞
													守 兒
													中 女
													計

紹介所別
小 石 川 紹 介 所

希望業務卜就職業務 (大正六年度)

就職業務	希望業務		職工	技術手	徒弟	小僧	店員	配達	行商	集金	外勤員	事務員	寫字	校正	記者	書生
	男	女														
工職	一六															
手術技																
弟徒																
僧小																
員店																
達配																
商行																
金集																
員勤外																
員務事																
字寫																
正校																
者記																
生書																
仕給																
丁使																
人番																
員教																
姆保																
生局藥																
人護看																
働勞																
守兒																
中女																
計	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六

就職業務	希望業務		計	女中	兒守	勞働	看護人	藥局生	保姆	教員	番人	使丁	給仕
	男	女											
工職	一三	一三	一三										
手術技													
弟徒													
僧小													
員店													
達配													
商行													
金集													
員勤外													
員務事													
字寫													
正校													
者記													
生書													
仕給													
丁使													
人番													
員教													
姆保													
生局藥													
人護看													
働勞													
守兒													
中女													
計	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二

希望業務卜就職業務

(大正六年度)

紹介所別

神

田

紹

介

所

職業	希望業務		就職業務		計
	男	女	男	女	
工職	二	八	一	三	一八
技術					
徒弟					
小僧					
店員					
配達					
行商					
集金					
外勤員					
事務員					
寫字					
校正					
記者					
書生					
給仕					
使丁					
番人					
教員					
保母					
藥局生					
看護人					
勞働					
兒守					
女中					
計	二	八	一	三	一八

職業	希望業務		就職業務		計
	男	女	男	女	
工職					
技術					
徒弟					
小僧					
店員					
配達					
行商					
集金					
外勤員					
事務員					
寫字					
校正					
記者					
書生					
給仕					
使丁					
番人					
教員					
保母					
藥局生					
看護人					
勞働					
兒守					
女中					
計	二	八	一	三	一八

希望業務卜就職業務

(大正六年度)

紹介所別

合

計

計	女中		兒守		勞働		看護人		藥局生		保母		教員		番人		使丁		給仕		希望業務		就職業務
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	
二七	二	二			六																	工	職
二二																						手	術
三																						弟	徒
二四																						僧	小
三六																						員	店
三八																						達	配
五八																						商	行
六六																						金	集
一七																						員	勤
五																						員	務
四七																						字	寫
五一																						正	校
七																						者	記
一九																						生	書
七																						仕	給
八																						丁	使
一四三																						人	番
一一																						員	教
																						婦	保
四																						生	局
八																						人	護
二二																						勤	勞
六〇																						守	兒
一一																						中	女
一五																						計	
一五五																							
一八																							
三六																							
一八																							

就職シタル者ノ年齢ハ各其就職業務ニ依リ同シカラサルモ男女ヲ通シ二十歳以上三十歳未満ノ所謂働キ盛リノモノ大多數ニシテ全人員ノ過半数ヲ占メ五十歳以上ノ者ノ多クハ使丁、番人等ニ就職セリ而シテ

二、就職業務ト年齢

特ニ注目スベキハ逐年事務員、番人、使丁、等ノ就職者増加スルノ傾向アリ是レ中流階級者並ニ老年者救済上喜ブベキ事ニシテ本所ハ一層其調節ニ努力ヲ要スベシ

就職業務ト年齢

(大正六年度)

所介紹	未二十歳		未十五歳		計		以六十歳上		未六十歳		未五十歳		未四十歳		未三十歳		未二十歳		計		別年齢	介紹所	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男			女
工	二				五	八			八		三		一〇		三		九				職		
手																						術	
弟																						徒	
僧																						小	
員																						店	
達	九																					配	
商	一七																					行	
金																						集	
員																						勤	
員																						務	
字																						寫	
正																						校	
者																						記	
生																						書	
仕																						給	
丁																						使	
人																						番	
員																						教	
婦																						保	
生																						局	
人																						護	
勤																						勞	
守																						兒	
中																						女	
計																							

第四、需要者

本年度ニ於ケル使用人需要ノ申込數ハ男女合計壹萬千二百六人(男九、九九一人女一、二二五人)ニシテ之ヲ前年度ニ比スルニ壹千六百五人(男一、〇三一一人女五七四人)ノ増加ニシテ平均一ヶ月九百三十三人一月平均三十一人餘ニ上ル多數ノ申込ミヲ得シハ本所開設以來始メテ見タル現象ニシテ大戦ノ好影響ト本所カス種開拓ノ効ハ如上ノ結果ヲ生シナリ

左ニ其申込職業別、支給賃金等ニ就キ述ヘシトス

一、需要業務ト需要者住所

需要者ヨリノ申込業務ヲ見ルニ男子ノ需要ハ職工、勞働、最多數ニシテ全員ノ六割餘ヲ占メ配達、店員之ニ亞キ小僧、徒弟及使丁ノ申込ミ又例年ニ比シテ多數ニ上リ女子ニ於テハ壹千二百十五人中壹千三十五人ハ女中ノ需要ニシテ前年度ノ四百九十九人ニ比シ倍加セリ次ニ其住所ヲ市内ト市外ニ市内ヲ更ニ行政區ニ分チ其割合ヲ見ルニ十五區中最多數ナルハ本所、深川兩區ハ殆ント職工、勞働ノ需要申込ニシテ神田、日本ナリ尙之ヲ其申込職業別ニ就テ見ルニ本所、深川兩區ハ殆ント職工、勞働ノ需要申込ニシテ神田、日本橋京橋方面ヨリノ申込ミ業務ハ配達、店員、事務員、使丁比較的多數ヲ算セリ而シテ市外ヨリノ申込數

ハ市内ニ比シ二割二分餘ノ割合ニシテ其業務ハ職工、勞働大部分ヲ占メタリ左ニ需要業務ト需要者住所トヲ表示セン

需要業務ト需要者住所(四ヶ所合計)

(大正六年度)

業務別	職工		技術手		徒弟		小僧		店員		配達		行商		集金		外勤員		事務員		寫字
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
麴町																					
神田	二八七	一一	一		二六	一	三九	四	二二〇	二	二四七	一〇					一四	三	一四	五	
日本橋	六七	一一	一		二二	一	五二	一	一〇八	二	二四	一四					一〇	七	四	五	
京橋	八九	一一	一		一五	一	三三	一	七九	二	九六	一					三	一	一	三	
芝	九九	一一	一		一一	一	八	一	四四	四	七二	三									
麻布	四八	一一	一		二	一	三	一	三三	三	三九	三									
赤坂	四九	一一	一		三	一	三	一	三九	三	五〇	五					一	一	一	七	
四谷	六六	一一	一		三	一	五	一	三三	三	三六	八					一	一	一	二	
牛込	四三	一一	一		六	一	三	一	三九	三	六六	二					一	一	一	六	
小石川	六六	一一	一		二	一	二	一	三九	三	六七	一					一	一	一	九	
本郷	七四	一一	一		二	一	二	一	五七	三	六三	七					一	一	一	三	
下谷	一一三	一一	一		七	一	七	一	六二	六	六五	五					一〇	一	一	一〇	
浅草	一七	一一	一		二	一	二	一	三三	三	六二	六					一	一	一	一	
本所	一〇〇	一一	一		二	一	二	一	一〇	四	六三	七					二	一	一	二	
深川	一三三	一一	一		六	一	五	一	八	五	五〇	三					二	一	一	二	
計	一、六四一	一一	一		二七	一	二七	一	八七〇	二	一、二〇六	七					一、一〇一	一	一	一、一〇一	
市外	五二八	一一	一		五〇	一	三九	一	六二	一	一、一七〇	三					一一	一	一	一〇	
合計	二、一六九	一一	一		二七	一	二七	一	九三二	三	一、三七六	一〇					一一	一	一	一一	

業務別	校正		記者		書生		給仕		使丁		番人		教員		保母		藥局生		看護人		労働		兒守		女中		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		男
麴町																												
神田																												
日本橋																												
京橋																												
芝																												
麻布																												
赤坂																												
四谷																												
牛込																												
小石川																												
本郷																												
下谷																												
浅草																												
本所																												
深川																												
計																												
市外																												
合計																												

二、需要業務ト使用人支給賃金

大戦ノ好影響ハ其遷延ト共ニ本邦事業界ヲシテ益々活躍セシメ從テ所要人員ノ供給不足ヲ告グ自然支給賃金ノ高騰ヲ促シ前年度ニ比シ更ニ一般ニ割方ノ昇昂ヲナセリ今需要者ヨリノ申出ニ依ル支給賃金ヲ職業別ニ依リ表示スレバ左ノ如シ

需要業務ト使用人支給賃金(雇主ノ申出ニ依ル) (大正六年度)

雇入方法	職業別	住		通		勤	
		月額	日額	月額	日額	月額	日額
職工	四圓乃至十二圓			十五圓乃至二十五圓		三十五圓乃至一錢五十錢	
技術手	七圓乃至十二圓						
徒弟	一圓五十錢乃至三圓						
小僧	一圓乃至三圓						
店員	四圓乃至十圓			十五圓乃至三十圓			
配達員	四圓乃至十二圓外歩合					四十五圓乃至一圓八十錢	
行商	歩合			月手當六圓外歩合			
集金	六圓乃至八圓外歩合			十圓乃至十二圓外歩合			
外勤員	歩合						

雇入方法	住	込	通	勤
事務員	七圓乃至十二圓		九圓乃至三十圓	筆料 一枚一錢乃至五錢
寫字	四圓乃至六圓		十圓乃至二十五圓	
校正			十圓乃至二十五圓	
記者	三圓乃至六圓			
書生	三圓乃至五圓			二十錢乃至三十五錢
給仕	三圓乃至五圓			三十五錢乃至八十錢
使丁	四圓乃至八圓			
番人	四圓乃至七圓			
教員	六圓乃至十二圓		十圓乃至二十五圓	
保姆	四圓乃至九圓		十圓乃至十八圓	
藥局生	四圓乃至九圓			
看護人	五圓乃至七圓			
勞働	四圓乃至十圓			四十錢乃至一圓二十錢
兒守	二圓乃至四圓			
女中	三圓五十錢乃至八圓			

第五、宿泊者

本年度宿泊者總人員ハ男女合計三萬二千三百三十人ニシテ前年度ニ比シ九百六十八人ノ減員ヲ見タリ是レ本年度七月以降小石川紹介所ヲ兒童保護所ニ充テタル爲メ該所ノ宿泊ヲ中止シタル結果ナリトス以下宿泊者ノ職業、年齡、出生地別等ニ就キ述ベントス

一、宿泊者職業ト年齡

宿泊者ノ大半ハ下層勞働者所謂日傭人夫ニシテ一定ノ職業ヲ有スルモノ少數ナリト雖モ時局ノ好影響ハ前年來斯種階級者迄モ福利ニ均霑シ例年ニ見ザル勞銀ノ所得ハ延テ彼等ノ自覺、奮勵ヲ促シ職工、行商等ノ有職者ヲ出セシハ喜ブベキ傾向ナリトス而シテ年齡ヲ見ルニ求職者ト異リ三十歳以上四十歳以下ノモノ多數ニシテ比較的少壯者少ナシ

左ニ宿泊者職業ト年齡別ヲ表示セン

宿泊者職業ト年齡

(大正六年度)

紹介所別	年齢別		職工	行商	外勤員	勞働	無職	計
	男	女						
二十歳未満	男	女	六			1,001	100	1,101

川石小 所介	芝 紹 介 所						淺 草 紹 介 所					所紹介 別
	三十 歲未 滿	二十 歲未 滿	計	六十 歲未 滿	五十 歲未 滿	四十 歲未 滿	計	六十 歲未 滿	五十 歲未 滿	四十 歲未 滿	三十 歲未 滿	
女	10	10	20	10	10	20	10	10	20	10	10	別
男	10	10	20	10	10	20	10	10	20	10	10	男
計	20	20	40	20	20	40	20	20	40	20	20	計
職												職
工												工
行												行
商												商
外												外
動												動
員												員
勞												勞
働												働
無												無
職												職
計	20	20	40	20	20	40	20	20	40	20	20	計

計	合						小 石 川 紹 介 所						
	六十 歲未 滿	六十 歲未 滿	五十 歲未 滿	四十 歲未 滿	三十 歲未 滿	二十 歲未 滿	計	六十 歲未 滿	六十 歲未 滿	五十 歲未 滿	四十 歲未 滿	三十 歲未 滿	二十 歲未 滿
女	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
男	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
職													
工													
行													
商													
外													
動													
員													
勞													
働													
無													
職													
計	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

二、宿泊者出生地別

宿泊者ノ出生地別ヲ見ルニ男女合計三萬二千三百三十人中一萬七百三十二人ハ東京生レニシテ求職者ト同
ジク最多數ヲ占メ全人員ノ三割三分餘ニ當レリ其他ニ於テハ静岡ノ千五百七十八人茨城ノ千五百七十七

人神奈川ノ千五百六十人埼玉ノ千五百四十五人ノ順位ニシテ鳥取、沖繩ノ如キハ僅ニ二人高知ニ至リテハ唯一人ニ過ギザリキ而シテ朝鮮人ノ求職者並ニ宿泊者數近年著シク増加セシハ注目スベキ事トス
左ニ其出生地別ヲ表示セン

宿泊者出生地別

(大正六年度)

出生地別	東京		浅草紹介所	芝紹介所	小石川紹介所	合計
	市部	郡部				
東 京	1,110	1,110	7	1,117	4,644	9,333
大 阪	1,298	1,298	30	1,328	3,391	1,510
神 奈 川	1,330	1,330	101	1,431	1,560	1,711
兵 庫	71	71	101	172	1,711	1,711
長 崎	363	363	101	464	3,611	3,611
新 潟	1,176	1,176	101	1,277	1,277	1,277
埼 玉	1,378	1,378	57	1,435	1,435	1,435
群 馬	361	361	98	459	459	459

千 葉	1,311	1,311	101	1,412	1,412	1,412
茨 城	1,402	1,402	101	1,503	1,503	1,503
栃 木	952	952	101	1,053	1,053	1,053
奈 良	35	35	101	136	136	136
三 重	100	100	101	201	201	201
愛 知	1,157	1,157	101	1,258	1,258	1,258
静 岡	1,191	1,191	101	1,292	1,292	1,292
山 梨	100	100	101	201	201	201
滋 賀	159	159	101	260	260	260
岐 阜	339	339	101	440	440	440
長 野	446	446	101	547	547	547
宮 城	1,198	1,198	101	1,299	1,299	1,299
福 島	175	175	101	276	276	276
岩 手	9	9	101	110	110	110
青 森	10	10	101	111	111	111
山 形	347	347	101	448	448	448

遣リタルモノ等尠カラザリシガ其効果良好ニシテ益々浮浪兒童保護機關設置ノ急務ナルヲ認メタルニヨリ大正二年四月ヨリ當紹介所ノ附帶事業トシテ兒童保護所ヲ設置シ以テ彼等ノ境遇ヲ改善シ墮落ヲ防止スルノ目的ニ備ヘタリ

始メ本所ハ小石川職業紹介所内ニ併置セラレ大正四年七月事務ノ都合上淺草職業紹介所内ニ移セシガ大正六年度以降東京府ヨリ事業費補助トシテ金一千圓ヲ受ケ收容者一日ノ定員十名ヲ二十五名ニ増加セル結果設備擴張ノ必要ヲ生ジタルニヨリ大正六年七月再ビ小石川職業紹介所内ニ移セリ

而シテ大正二年四月開設以來大正七年三月ニ至ル五ケ年間ノ收容人員千八百五十二名(内男千七百九十五名、女五十七名)ノ兒童ヲ收容シ本年度ニ於テハ男四百六十二名女六名計四百六十八名ヲ收容セリ之ヲ昨年度ニ比スレバ百七名ノ増加ヲ見タリ而シテ大正二年四月以降同七年三月ニ至ル五ケ年ニ於ケル兒童保護ノ成績ハ左ノ如シ(前項第二章第一表第五項表参照)
今本年度ニ於ケル統計ニ基キ其概略ヲ説明スベシ

一、自大正二年度 至同六年度 五ケ年ニ於ケル兒童保護成績表

種目	年度別		同三年度	同四年度	同五年度	同六年度	合計	新入者ニ對スル割合
	男	女						
新入	二四	二四	三六	三八	三四	四六	一七	五七

職業紹介	年度別		同三年度	同四年度	同五年度	同六年度	合計	新入者ニ對スル割合
	男	女						
職 業 紹 介	九	三	一	一	一	一	七	四
感 化 院 二 送 致	一	一	一	一	一	一	六	一
救 護 場 二 引 渡	一	一	一	一	一	一	六	一
扶養義務者又ハ元雇主ニ引渡	三	三	三	三	三	三	一七	一
逃 亡	六	六	七	三	一	九	六六	一
新入者ニ對スル逃亡ノ割合	二	二	五	四	二	二	一六	三

二、月別收容人員

月別收容人員ニ就テ見ルニ四月ニ於テ五十五名ヲ示シ九月ノ四十九名之ニ次グ其他ハ各月トモ大差ナク七年一月ニ於テ二十一名ノ少數ニ減ゼリ之ヲ各月ニ通ジ平均スレバ一ケ月三十九名ニシテ收容者一日平均一名三分ノ割合ナリ

其他引渡職業紹介等ノ各項ニ就キテハ後段説明スベシ

保護兒童月別異動

(大正六年度)

月 別	前月		計	扶養義務者ニ引渡	職 業	感化院ニ送致	救護場ニ引渡	逃 亡	計	月末人員
	男	女								
大正六年四月	六	一	一六	五	三	二	一	一	一六	一

月別	五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月		十二月		大正七年一月	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
前人員	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
當人員	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
計	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
扶養義務者へ引渡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
就職	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
感化院へ送致	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
救護場へ引渡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
逃亡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
月末人員	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11

三、保護兒童ノ出生地別

兒童ノ出生地ヲ區別スルニ東京市内ノモノ最多クシテ四十九名ヲ示シ之ヲ各府縣ニ區別スレバ静岡縣

ノ二十五名首位ニアリテ長野縣ノ二十一名之ニ次ギ茨城縣、新潟縣ノ二十名、埼玉縣十八名、東京府郡部、千葉縣、群馬縣ノ順位ニアリ、又此内朝鮮人七名、支那人一名ヲモ收容セリ、而シテ東京市部、郡部出生者ノ一割四分ニ對スルハ割六分ハ他府縣ノ出生者ナリトス

保護兒童ノ出生地別

(大正六年度)

府縣別	東京市部		東京府部		府縣別	府縣別		府縣別	府縣別		府縣別	府縣別		府縣別	府縣別		府縣別	府縣別	
	男	女	男	女		男	女		男	女		男	女		男	女		男	女
山梨	9	9	3	3	富山	2	2	岡山	8	8	大分	3	3	山梨	9	9	山梨	9	9
長野	3	3	5	5	新潟	20	20	兵庫	14	14	福岡	8	8	長野	3	3	群馬	3	3
群馬	5	5	3	3	秋田	6	6	和歌山	3	3	長崎	3	3	群馬	5	5	千葉	4	4
栃木	3	3	3	3	山形	5	5	大阪	9	9	高知	3	3	千葉	4	4	埼玉	18	18
茨城	8	8	2	2	福島	9	9	滋賀	3	3	香川	2	2	千葉	4	4	東京	18	18
千葉	4	4	2	2	宮城	5	5	三重	7	7	愛媛	8	8	東京	18	18	東京	18	18
埼玉	8	8	1	1	愛知	6	6	徳島	8	8	徳島	5	5	東京	18	18	東京	18	18
静岡	23	23	2	2	岐阜	2	2	愛知	8	8	徳島	5	5	東京	18	18	東京	18	18
東京	18	18	2	2	青森	2	2	岐阜	2	2	愛媛	8	8	東京	18	18	東京	18	18
京都	6	6	2	2	北海道	23	23	福井	4	4	山根	4	4	東京	18	18	東京	18	18
神奈川	3	3	1	1	石川	8	8	山口	8	8	島根	4	4	東京	18	18	東京	18	18
東京	18	18	2	2	廣島	8	8	廣島	8	8	山口	8	8	東京	18	18	東京	18	18
合計	93	93	20	20	合計	93	93	合計	93	93	合計	93	93	合計	93	93	合計	93	93

府縣別	男	女	計	府縣別	男	女	計	府縣別	男	女	計
佐賀	五		五	熊本	六		六	朝鮮	七		七
宮崎	二		二	沖繩	一		一	支那	一		一
合計	四六	一	四七	合計	四六	一	四七	合計	四六	一	四七

四、保護兒童送致者ト惡化ノ狀況

兒童ノ送致者ハ淺草象潟警察署ノ百十九名首位ニアリテ全數ノ約二割三分ヲ占メ、麴町日比谷警察署其次位ニアリテ八十五名ヲ示シ、淺草日本堤警察署第三位ニシテ五十六名ヲ示セリ、淺草象潟警察署ノ送致數ハ昨年度ニ比シ十五名ヲ減シ逐年減少ノ傾向アルモ依然トシテ浮浪兒童ノ大部分ガ其所管ナル淺草公園附近ニ集合スルニ因ル、是レ同公園附近ニハ娛樂場、飲食店等多ク且ツ露宿スルノ便宜アルガタメニシテ彼等浮浪兒童ノ根據地タルノ觀アリ、隨ツテ同所ニハ惡化セルモノ多シ

麴町日比谷警察署ノ多キハ其管内ニ東京驛アリテ苦學ノ目的ヲ抱キ父兄ニ無斷ニテ上京スルモノ、又ハ雇先ヲ無斷ニテ出奔上京スルモノニシテ當地ニ知人等ナキタメ道途ニ迷ヘルモノヲ保護ノ上當所ヘ引渡サル、ガ故ナリ、但シ是等ノ中不良ノ傾向アルモノハ比較的稀ナルガ如シ

淺草日本堤警察署ノ多キハ淺草公園ニ近シテ且ツ同署附近南千住、下谷金杉、入谷町附近ヲ徘徊スル少年ガ同署管内ニ流入スルガ故ニシテ同署ニ於テハ特ニカ、ル浮浪兒ノ保護檢舉ニ留意セラル、ガ故ナリ

彼等ガ諸所ヲ浮浪徘徊スルニ當リテハ諸種ノ誘惑之ニ伴ヒ新聞賣子紙屑拾ヒ等ニ誘引セラレ或ハ不良少年ト伍スルニ至リ或ハ拘摸、香具師等ニ誘惑セラレテ其手先トナリテ放縱ナル無宿ノ盜兒ト化スルニ至リシナリ

保護兒童ノ送致者ト惡化ノ狀況

(大正六年度)

送致者	別	惡化ノ形跡ナシ	稍惡化	惡化	不詳	計	送致者	別	惡化ノ形跡ナシ	稍惡化	惡化	不詳	計
淺草象潟警察署	男	四	三	三	一	一一	警視廳	男					
麴町日比谷警察署	男	七	八	三	一	一九	小坂警察署	男					
日本堤警察署	男	一	三	一		五	富坂警察署	男					
久松警察署	男	四	一			五	麻居坂警察署	男					
小塚警察署	男	二	二			四	本居警察署	男					
大塚警察署	男	二	二			四	深谷警察署	男					
神田警察署	男	一	三			四	扇橋警察署	男					
西神田警察署	男	一	三			四	四谷警察署	男					
外神田警察署	男	二	三			五	麴町警察署	男					
京地警察署	男	一	二			三	坂下警察署	男					
下野警察署	男	一	二			三	本生警察署	男					
本島警察署	男	一	一			二	相庭警察署	男					
合計	男	二九	三六	二七	二二	一一四	合計	男	一	一	一	三	

送致者	別男女		送致者	別男女	
	男	女		男	女
淺草町警察署	1	0	神田職業紹介所	1	0
府警察署	0	0	直接職業紹介所	0	0
澁谷警察署	0	0	芝職業紹介所	0	0
小石川職業紹介所	3	0	合計	3	0
所直接職業紹介所	0	0	合計	3	0
淺草職業紹介所	3	0	合計	3	0
直接職業紹介所	2	0	合計	3	0
合計	7	0	合計	3	0
計	7	0	計	3	0

五、收容當時ノ年齢ト教育程度

年齢ニ於テハ十六歳ノモノ最多ク八十一名ニシテ全數ノ約一割七分ヲ占メ、次ハ十五歳七十二名ニシテ十四歳ノ六十五名ハ第三位ニ在リ是レ一ハ十五歳前後ハ生理的變動ノ最顯著ナル時期ナルニ因リ一ハ責任年齢ニ達セザルモノガ刑罰ヲ免レタルモノ尠カラサルニ因ル、尋常小學校卒業以上ノモノハ百七十七名ニシテ全數ノ約三割七分ナルモ二百五十九名乃チ全數ノ約五割五分ハ義務教育未完了者ナルガ是等ハ貧困ノ爲メ就學シ能ハザルモノ又ハ學業及操行等ノ成績不良ナル理由ニヨリテ半途退學セルモノナリ又其内未就學ノモノ七十名乃チ全數ノ約一割五分ヲ占メ是等ノ内ニ不良行爲ヲナスモノ多キハ注意スベキ現象ナリトス

保護兒童收容當時ノ年齢ト教育程度

(大正六年度)

年齢	別男女		未就學	尋常科一學年	同二學年	同三學年	同四學年	同五學年	同卒業	高等科一學年	同卒業	同卒業以上	不詳	計
	男	女												
八歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
十歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
十一歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
十二歳	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
十三歳	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
十四歳	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
十五歳	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
十六歳	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
十七歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
十八歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
十九歳	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26

備考 年齢ハ數ヘ歳ナリ

六、保護兒童浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間

兒童ガ父兄又ハ雇主ノ許ヲ離レテ獨リ道途ニ彷徨徘徊スルニ至リシ原因ハ複雑ニシテ種々ノ事情アリト雖モ彼等ノ中苦學又ハ奉公ノ目的ヲ以テ家出又ハ上京セルモノ、數最モ多クシテ百八十名乃チ全數ノ約三割八分ヲ占ム之ニ次グハ盜癖ヲ有シテ家庭又ハ雇先ヨリ逃亡セルモノ百十四名ニシテ全數ノ約二割八分ヲ占メ性怠惰放縱ニシテ家居又ハ職業ニ就クヲ厭ヒ浮浪ノ常習トナレルモノ六十七名ニシテ全數ノ約一割四分ヲ占ム、尙ホ其他扶養義務者ナキモノ若シクハ貧困等ノ理由ニヨリ遺棄ノ状態ニアルモノ三十五名感化院又ハ育兒院等ヲ逃走セルモノ十五名、精神薄弱ノタメ家出セルモノ十三名ナリ、在京期間ニ於テ最モ多キハ十日以内ノモノ二百十四名ニシテ市内出生者四十九名ヲ除キ四百十九名ニ對スル約五割ヲ占メ之ニ次グハ十日以上一ヶ月以内ノ居住者六十名ニシテ全數ノ約一割四分ヲ占ム

盜癖又ハ怠惰者ノ中ニ在京日數ノ永キモノ多キハ彼等ハ其性癖ノ爲メ職業ヲ永續スルコト能ハスシテ幾回トナク雇主ヨリ轉々スルモノ多キニヨリ、浮浪日數ナキモノハ上京後直チニ收容セラレタルモノニシテ二百四名ヲ占メタルガ全數ノ四百六十八名ニ對スル約四割四分ヲ占メ、十日以内浮浪セルモノ百三十八名ニシテ全數ノ約三割ヲ占メタリ而シテ浮浪日數ノ永クシテ其習癖トナレルモノ、數漸次減少ノ傾向アルハ喜ブベキ現象ナリトス、是レ彼等ハ永ク浮浪スルニ從ヒ惡化ノ程度モ著明トナリ、終ニハ浮浪又

ハ犯罪ノ常習者トナルヲ以テナリ

保護兒童ノ浮浪原因ト在京並ニ浮浪期間

浮浪原因	在京日數				浮浪日數			
	十日以上		十日以内		十日以上		十日以内	
	男	女	男	女	男	女	男	女
苦學又ハ奉公ノ目的ニテ上京	11	12	11	12	11	12	11	12
盜	17	17	11	10	11	11	11	10
怠惰	17	17	11	10	11	11	11	10
故郷思慕出奔	2	2	3	3	2	2	2	2
救護場逃亡	5	5	1	1	5	5	1	1
誘拐	1	1	1	1	1	1	1	1
惡友ノ誘惑	1	1	1	1	1	1	1	1
雇主ノ虐待	3	3	3	3	3	3	3	3
遺棄	3	3	7	8	3	3	3	3
病氣其他	2	2	1	1	2	2	2	1
合計	22	22	26	26	22	22	26	26

備考 在京日數ニ於テ當市出生者ヲ加入セス

七、保護兒童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因

兒童ト扶養義務者トノ關係ヲ見ルニ實父母アルモノ百八十三名ニシテ實母ノミアルモノ五十九名、實父ノミアルモノ四十三名、實父ニシテ繼母ナルモノ三十三名、扶養義務者ナキモノ四十三名ヲ占メタリ乃チ全數ノ約三割七分ハ兩親アルモ六割三分ハ片親若クハ兩親ナキ不幸ナルモノニシテ親戚ノ手ニ養ハレ又ハ雇主ノ手ニ引取ラレタルモノナリ家庭ニ缺陷アルモノ又ハ扶養義務者ナキモノハ浮浪シ易ク且ツ不良行爲ニ陷ルモノ多キガ如シ

保護兒童扶養義務者ノ關係ト浮浪原因

(大正六年度)

扶養義務者關係	別		盜	竊	怠惰	故郷思慕出奔	救護場逃亡	誘拐	惡友ノ誘惑	雇主ノ虐待	遺棄	病氣	其他	計
	男	女												
實父母ノ手ニヨリ	110	10	3	1	1	1	1	1	2	7	5	3	3	181
實父繼母ノ手ニヨリ	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
繼父實母ノ手ニヨリ	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
實父ノ手ニヨリ	7	7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
實母ノ手ニヨリ	14	14	2	2	10	2	2	2	2	1	5	2	2	59
養父母ノ手ニヨリ	2	2	7	2	2	2	2	2	2	1	5	2	2	26
合計	136	136	14	6	23	5	5	5	10	14	14	10	10	262

兄弟ノ手ニヨリ	別		親戚ノ手ニヨリ	扶養義務者ナキモノ	不詳	合計
	男	女				
兄弟ノ手ニヨリ	1	1	8	8	1	11
親戚ノ手ニヨリ	2	2	8	8	1	11
扶養義務者ナキモノ	2	2	3	3	1	8
不詳	2	2	1	1	1	6
合計	5	5	20	20	4	29

八、保護兒童扶養義務者ノ職業ト浮浪原因

扶養義務者ノ職業ハ農業最多ク百二十二名ニシテ全數ノ約二割五分ヲ占ム、次ハ手工業家ノ子弟ニシテ八十四名、商家ノ子弟七十九名ヲ占ム、之ニ次クハ車夫日傭等ノ労働者四十二名、無職業者ノ四十名ナリ、是等扶養義務者ノ中ニハ相當ノ資産家アリト雖トモ概シテ小作人、小賣商人、下級労働者等ニシテ貧窮者ナリ
苦學又ハ奉公ノ目的ニテ上京セルモノハ農家ノ子弟ニ多クシテ手工業、小賣商、労働者ノ子弟ニ成績不良ノモノ多キガ如シ

保護兒童扶養義務者ノ職業ト浮浪原因

(大正六年度)

合 計	不 詳		其 他		無 職		勞 働		庶 業		雇 人		商 業		手 工		職 業		漁 業		農 業		職 業	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
一七六	七	一	二	九	五	八	三	二七	六	四	二七	三	二七	六	四	二七	三	二七	六	四	二七	三	二七	六
一三六	二〇		八	一三	五	六	二〇	三三	三	四	二〇	三三	三	四	二〇	三三	三	四	二〇	三三	三	四	二〇	三三
一七	二		四	六	二	二	一五	二	二	一	一五	二	二	一	一五	二	二	一	一五	二	二	一	一五	二
一五	三		二	二	一	一	四	四			四				四				四					四
一三																								
四																								
九	一		一																					
三																								
一〇			九	一〇	二	三	二	四			二	四			二	四								
三〇			四		一																			
四六																								

九、保護終了事由ト收容期間

當所ハ兒童ノ身分ヲ迅速ニ調査シ成ル可ク扶養義務者ニ引渡ス方針ナルガ行方不明トナレルモノ諸所ヲ

轉々シテ消息不明トナレルモノ、偶々當所ノ通知ニ接シテハ父兄ノ喜び一方ナラズ遙ニ上京シテ引取ルモノアリ、又家庭ニ復歸シテ幸福トナレルモノ多シ、然レドモ扶養義務者貧困、家庭ノ狀況不良、若クハ職業紹介方ヲ依頼シ來レルモノ扶養義務者ノ判明セサルモノ等ニ對シテハ主トシテ職業ノ紹介ヲナセリ彼等ノ職業ヲ紹介スルニ就キテハ成ル可ク本人ノ希望ヲ容レ、身體及精神ノ適否ヲ考察シタル上ニテ決定シ且ツ職業紹介後モ其監督保護ヲ怠ラサルガ故ニ皆其職ニ安ンジテ勵精シツ、アリ、又浮浪ノ常習トナレルモノ盜癖等ノ著明ナルモノハ相當ノ手續ヲ履ミテ感化院ヘ入院セシメ疾病幼弱等ノモノハ東京市養育院等ニ引渡セリ、身元照會中若クハ性行調査中ニ逃走セルモノ九十九名乃チ全數ノ約二割ヲ算スルハ遺憾ナルモ浮浪ノ常習者及惡癖アルモノハ束縛セラル、コトヲ忌ミ又惡事ノ發覺ヲ恐レテ逃走セルモノナリ、然レドモ是等ノ逃走者ハ設備整頓シ、看護ノ手ヲ増加スルニ從ヒ漸次其率ヲ減少セリ

保護終了事由ト收容期間

(大正六年度)

保護終了事由	十日以内		二十日以内		二十日以上		一ヶ月以内		一ヶ月以上		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
職業別	三	四	一	八	一	三					四
職務別	三	四	一	八	一	三					四
業別	三	四	一	八	一	三					四

年度ノ如キハ其就業延人員實ニ九千七百六十三人餘則チ一日平均二十七人餘ノ就業者ヲ出セリ今其月別成績ヲ示セバ左ノ如シ

一、月別授産成績

(大正六年度)

月別	種目	就業人員		就業延人員		就業日數	一日平均就業人員		一日平均所得	
		男	女	計	男		女	計	男	女
大正六年	紙人夫請負撰	三五	一八	一四四	三七	三〇	四・八	一〇・五	〇・四六三	〇・三三三
四月	同上	五〇	二〇	六四九	三三	三二	二〇・九	一〇・七	三・一六	〇・四八一
五月	同上	四四	一五	八三・五	一七一	三〇	二七・七	五・七	三・三四	〇・四八
六月	同上	三四	八	三九・四	一〇〇	三二	二二・八	四・一	一・六九	〇・四九八
七月	同上	元	二	五五・七	一五六	三二	一七・八	四・九	〇・五五八	〇・一〇〇
八月	同上	元	二	五五・七	一五六	三二	一七・八	四・九	〇・五五八	〇・一〇〇
九月	同上	元	二	五五・七	一五六	三二	一七・八	四・九	〇・五五八	〇・一〇〇
十月	同上	八〇	九	六六・五	一〇四	三二	二二・三	三・三	二・四・六	〇・五九
十一月	同上	五	八	七三・〇	一九	三〇	二四・四	五・三	二・九・七	〇・五二五
十二月	同上	三	七	八三・五	一六	三二	二六・二	五・二	三・一・四	〇・六〇〇
大正七年	同上	元	一〇	五五・四	一〇〇	元	一九・七	四・六	二・四・三	〇・四九
一月	同上	元	一〇	五五・四	一〇〇	元	一九・七	四・六	二・四・三	〇・四九
二月	同上	元	一〇	五五・四	一〇〇	元	一九・七	四・六	二・四・三	〇・四九
三月	同上	元	一〇	五五・四	一〇〇	元	一九・七	四・六	二・四・三	〇・四九
計	同上	五六一	一四九	七二〇	七、四四・五	二、九九九	九、七六・五	三、六三	〇・五〇四	〇・一三五

第八、慰安及訓戒

本所取扱者ノ中ニハ不安ナル生活ニ困憊シテ失意若クハ自暴自棄ニ陥ラントスル社會ノ敗殘者モアリ強固ナル意志ト的確ナル定見ナク唯タ一時ノ空想ニ驅ラレ一躍幸運ヲ獲得セントスル青年若クハ全然實社會ノ状態ニ暗キ無謀者等アルヲ以テ此等ニ對シ本所ハ各個人ノ境遇ト性格ニ鑑ミ其前途ヲ慮リテ或ハ歸國ヲ勸メ或ハ自覺奮勵ヲ促ス等精神的ノ慰安獎勵ト訓戒トヲ與ヘ彼等ヲ可及的良好ナル方向ニ導カンコトニ努ムルト同時ニ彼等ニ通有ナル一種ノ危險思想ヲ緩和シ以テ社會ノ秩序安寧ヲ計リツ、アリ尙ホ是等ノ目的ヲ達スル爲メ獨リ如上ノ方法ノミナラズ隨時篤志家ヲ聘シ宿泊者及保護兒童ニ有益ナル講話ヲ請ヒ只管其慰籍善導ニ努メツ、アリ

左記の職業紹介所は東京市が公益の爲め直接に經營する事業でありまして適當の使用人を雇ひたい方ご職業に就きたい方ごの間に立ち一切無手数料で御世話する所でありますから何方でも遠慮なく御申出下さい

一、使用人を雇入れたい方は 左の三ヶ所の紹介所中へ御出頭になるか又は電話か書面で御申込になれば市内は勿論市外の方にも無料で御世話をいたします

一、職を求めたい方は 左の三ヶ所の紹介所中へ自身で御出頭下さい市内に居住する方なれば何方でも無料で業務を御世話いたします

一、宿泊に困る方は 左の紹介所の中で浅草と芝紹介所に於て一晚金六錢で泊めますから午後五時から同八時迄に御出頭なさい

職業紹介の申込時間は日曜祭日に拘らず午前八時より午後より午後三時迄

一、事務所は 東京市浅草職業紹介所 (電話下谷四 五五〇番)
浅草區玉姫町百二十六番地 (電車南千住線山谷下車)

東京市芝區職業紹介所 (電話芝一、一六〇番)
芝區新堀町三十番地 (電車三田線芝園橋下車)

東京市小石川職業紹介所 (電話小石川二一七番)
小石川區大塚坂下町二百二番地 (電車大塚線辻町下車)

東京市役所

終

